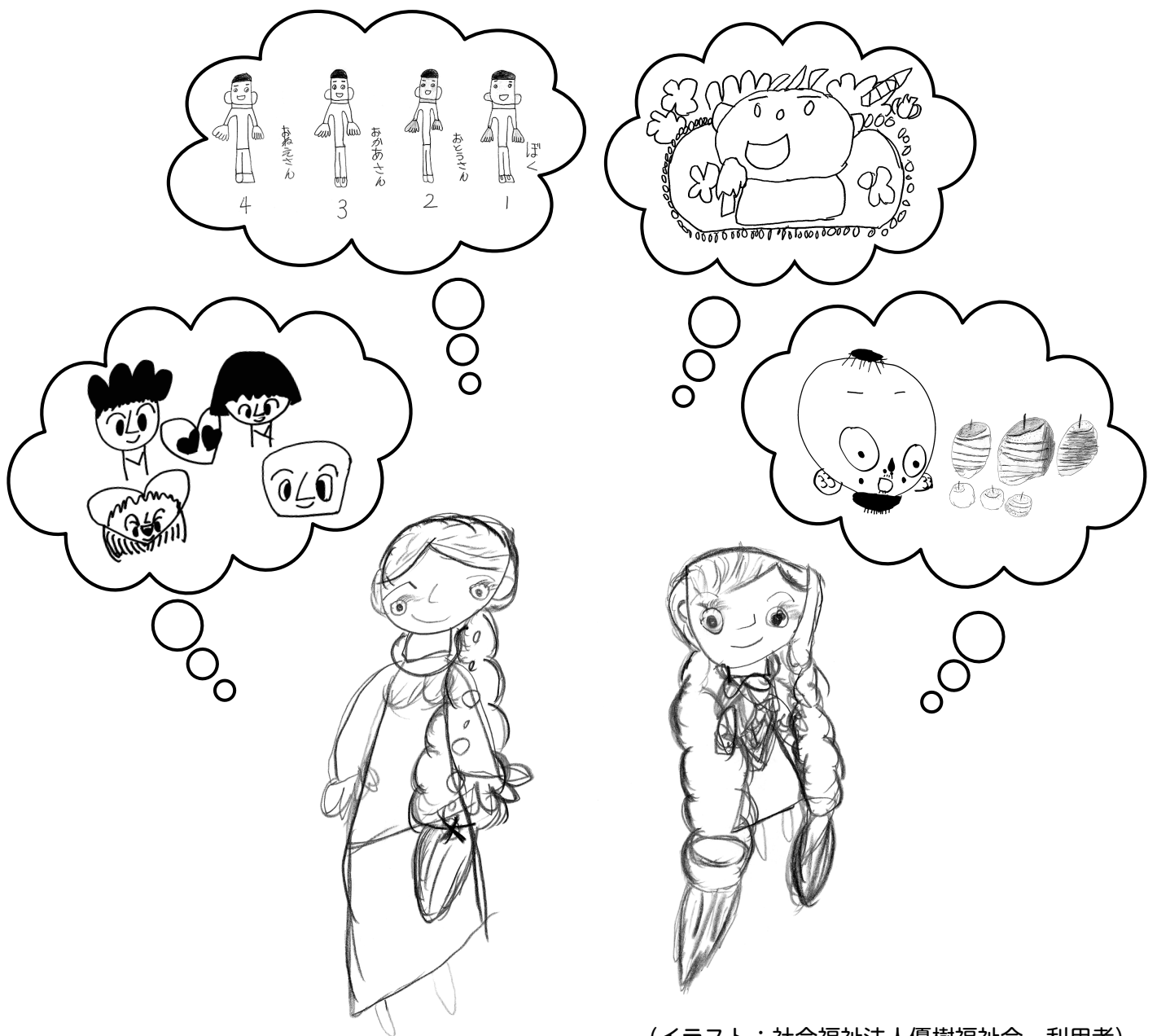


# 私の事はあたりまえに自分で決めたい。 手伝ってね！！ Ver. 5

「障がい者福祉施設・事業所における

障がいある利用者への意思決定支援実例集」



(イラスト：社会福祉法人優樹福祉会 利用者)

(2020年) 令和2年1月

福島県知的障害者福祉協会

人権・倫理委員会

# も く じ

あいさつ	
福島県知的障害者福祉協会 会長 古川 敬	P 1
はじめに	
人権・倫理委員会委員長 古川 彰彦	P 2
実例調査の概要	P 4
実施された「障がいある利用者への意思決定支援実例」用紙	P 5
【意思決定支援実例の結果】	
カテゴリー分け要素説明	P 6
I 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例	A
① 居住系	P 12
② 日中活動系	P 26
③ 就労系	P 37
④ 児童系	P 46
II 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例	B
① 居住系	P 58
② 日中活動系	P 69
③ 就労系	P 78
④ 児童系	P 85
カテゴリー分類図	
成功実例カテゴリー分類図	P 94
失敗実例カテゴリー分類図	P 96
5年間のカテゴリー分類比較図	P 98
人権・倫理委員による編集後記	P 100



## あ い さ つ

我国の障害福祉の理念を謳い、まさに基本を示している「障害者基本法」第23条第1項には「国及び地方公共団体は、障害者の意思決定の支援に配慮しつつ（以下略）」と書かれている。同様に障害者総合支援法には「指定障害福祉サービス事業者、指定障害者支援施設等の設置者等は、障害者の意思決定支援に配慮する（以下省略）」、児童福祉法には「指定障害児通所支援事業者、指定障害児入所施設等の設置者等は、障害児及びその保護者の意思をできる限り尊重する（以下省略）」、知的障害者福祉法には「市町村は、障害者の意思決定の支援に配慮しつつ（以下略）」と書かれている。

つまり、平成23年7月の改正障害者基本法施行から障害者への意思決定支援を無視すれば、国も市町村も施設・事業所も明確な違法行為なのであり、知的障害者支援を生業とする私たちにとって避けては通れない重要な支援が「意思決定支援」と言えるのである。

一方で意思決定支援は、パートナーリズムからの脱却やエンパワメント支援などの専門理念を基本とした生活のあらゆる場面での支援であり、人権擁護の取り組みそのものと言っても過言ではない。

したがって、意思決定支援は次のように定義付けされているのである。

『意思決定支援とは、障害者本人の意思が形成されるために、理解できる形での情報提供と経験や体験の機会の提供による「意思形成支援」、及び言葉のみならず様々な形で表出される意思を汲み取る「意思表出支援」を前提に、生活のあらゆる場面で本人の意思が最大限に反映された選択を支援することにより、保護の客体から権利の主体へと生き方の転換を図るための支援である。』（参考文献）古川敬(2017)：知的障害者の意思決定支援ガイドブック「現場で活かせる意思決定支援」（公財）日本知的障害者福祉協会 pp.52-59

当協会が取り組みを開始して5年目を迎える本事例集は、支援現場における意思決定支援を組織で支える先駆的な取り組みであることは言うに及ばず、制止・抑制を基本とした「消極的人権擁護」である「虐待防止」から、行動・促進を基本とした「積極的人権擁護」である「意思決定支援」への転換を促す要素が詰まった冊子の刊行であり、全国に誇れる取り組みである。

知的障害のある方々への本来の支援は意思決定支援がベースにあってこそ成り立ち、その点こそが他の障害分野の支援とは大きく異なるとの認識とともに、いつの日か「虐待」や「虐待防止」といったネガティブな言葉が支援現場から消え去り、「意思決定支援」や「人権擁護」の取り組みといったポジティブな言葉が支援現場で当たり前に関わられる日が来ることを願ってやまない。

福島県知的障害者福祉協会  
会 長 古川 敬

# はじめに

「意思決定支援事例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～Ver. 5」が今年も発刊されました。福島県内の施設・事業所職員の皆様から意思決定支援の実例が今回は238件ご提出がなされ、Ver. 1から延べ974件のインシデントデータが集まりました。皆様方からのご協力に本当に感謝申し上げます。

本冊子に蓄積された5年間のカテゴリー分類比較図データから、徐々に意思決定支援の成功・失敗のカテゴリーの傾向が見えてきました。意思決定支援の成功事例では①意思決定を周囲で尊重できる環境がある②本人の意思決定表出を受けて、実現③選択肢としての情報提供、の順番で成功が高い傾向になり、反対に「家族や職員、周囲の人の都合が優先された」のカテゴリーを含む実例はありませんでした。一方、失敗事例では①家族や職員、周囲の都合が優先された②本人の意思決定表出を受けて、実現していない③意思決定を周囲で尊重できる環境がない、の順番で失敗が高い傾向が見られました。これらのことから、本人を主体とした意思決定支援が重要で、本人の意思より周囲の人達の都合が優先されてしまうと「本人の人権が侵害される傾向がある」ことを示しています。

この意思決定支援の実例集を作成するプロセスで、実に様々な支援や観点を発見することができました。この意思決定事例集では特に、障がいある本人自身の個性や性格、嗜好に応じ「支援者側が本人の意思表出を敏感に感じ取り、本人の意思決定に沿った支援がなされているか」が、重要であることが読み取れます。つまり、本人に対しての「合理的な配慮」がなされ、支援が行われているかが、「意思決定支援」にとって肝要であることが分かります。

令和元年12月20日に厚生労働省より「平成30年度都道府県・市町村における障害者虐待事例への対応状況等（調査結果）」が公表されました。障害者虐待判断件数は2,745件（前年比4.9%増）、その内訳は養護者58.7%、福祉施設従事者21.5%、使用者19.7%でした。虐待を受けた全被虐待者3,303人（前年比7%減）の内55.9%が知的障害者【福祉施設従事者のみでは知的障害者が74.8%（前年比3.8%増）】でした。福祉施設従事者による虐待が認められた事業所種別では、障害者支援施設23.0%、生活介護17.9%、共同生活援助15.0%、就労継続B型12.5%、放課後デイ11.8%、でした。福祉施設従事者等による障害者虐待は、知的障害者が74.8%と最も多く、行動障害ある人が32.3%でした。虐待者の職種は、生活支援員が42.3%、その他従事者10.3%、管理者9.5%でした。これらの結果を分析し、福祉施設従事者は私達自身の『支援のあり方』を重く受け止めなければなりません。

私達が日常的な支援で、障がいある本人に応じた「合理的配慮」がなされることで、意思の形成、表出を醸成しやすい環境が整い、意思決定支援が実践されます。そのプロセスの結果として人権が護られ、虐待を未然に防ぐことに繋がります。

サポートを受けながらも、障がいある本人の「人生のハンドルを常に握っている」のは本人自身です。

福島県知的障害者福祉協会  
人権・倫理委員会  
委員長 古川 彰彦

令和元年12月 現在

福島県知的障害者福祉協会 人権擁護委員会設置に関するアンケート  
 福島県内会員施設における人権擁護委員会設置箇所数 推移表

	H21年11月	H22年4月	H23年4月	H24年4月	H25年4月	H26年4月	H27年4月	H28年4月	H29年4月	H30年4月	H31年4月	R元年12月
設置済み	22	23	21	36	48	61	72	72	80	84	94	98
年度内設置予定	1	8	6	2	16	4	4	4	5	0	1	1
次年度以降設置予定	35	25	17	17	17	20	19	21	18	21	12	10
設置困難	5	5	3	3	2	1	1	2	0	1	5	3
設置出来ない	3	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0
予定なし	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無回答	20	26	39	30	5	0	0	0	0	0	0	0
合 計	88	88	87	89	88	87	96	100	104	107	112	113

【令和元年12月現在 人権擁護委員会・虐待防止委員会等の各施設設置率 87%】

## 調査の概要

### 目的

県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の冊子をこの度、5年目の発行をすることができました。この実例集は、県内に留まらず各都道府県や厚労省及び関係機関からも参考にしたいとのご要望が多くありました。「実践の中に真理あり」です。各施設の日常的な支援の実践や実例の中に、「意思決定支援」の様々な要素（カテゴリー）が凝縮されている事が、4年間の実例集で分析され、可視化されました。

そこで、昨年に引き続き人権・倫理委員会では、「意思決定支援の実例」を各施設からご提供頂き、その類似性や特徴及び共通点を分析した実例集を作成することになりました。各事業所の職員一人ひとりが、日頃の支援を振り返り、実例の作成や実例をスタッフ間で協議することにより、今まで気づかなかった「発見」や、「改善策（統一的支援等）」が見出され、それにより、日常的に意思決定支援の実践が成される人的・物理的環境がととのいます。この一連の意思決定支援のプロセスこそが虐待を未然に防ぐ支援、並びに本人主体の積極的な人権擁護につながる良い機会になることを期待します。

### 1 調査対象

福島県知的障害者福祉協会加盟事業所におけるサービス管理責任者 等

### 2 調査方法

福島県知的障害者福祉協会 事務局よりメールにて依頼

### 3 依頼期間

令和元年8月1日（木）～9月10日（火）

### 4 依頼件数

112 事業所（昨年度 107 事業所）

### 5 回答件数

63事業所（昨年度63事業所）	成功実例 129件（昨年比 + 9件）
	失敗実例 109件（昨年比 + 11件）
	合計 238件（昨年比 + 20件）

### 6 回答率

56% （H30年度59% H29年度54% H28年度58% H27年度37%）

### 6 調査項目

- 1 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例
- 2 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例

令和元年 8 月 1 日

福島県知的障害者福祉協会  
会員・準会員 各 位

福島県知的障害者福祉協会  
会 長 古 川 敬  
( 公印省略 )  
人権・倫理委員会  
委員長 古 川 彰 彦

## 福島県内の全会員事業所における 「障がいある利用者への意思決定支援事例集 Ver. 5」作成について（依頼）

処暑の候、会員の皆様はますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

福島県人権・倫理委員会は「福島県内の障害者施設利用者への虐待を未然に防止し、人権が擁護された支援の周知と拡充及び安心して支援できる事業所体制の向上を図ること」を目的とし発足して、8年目となりました。平成31年4月現在、当協会会員112カ所中、94ヶ所に人権擁護委員会等が設置され、設置率84%となっています。今後は、各事業所で設置された人権擁護委員会等が職員誰もが話しやすく、討議しやすい環境にあるか、委員会の中身や質が問われます。各施設職員が障がいある利用者の方に対して、どんな時も「人権が護られた支援」を正々堂々と明るく、笑顔で出来るようにしたいものです。

さて、標記の件でございますが、平成27年度から県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の冊子を発行させて頂いております。この事例集は、県内に留まらず各都道府県や厚労省及び関係機関からも参考にしたいとのご要望が多くありました。「実践の中に真理あり」です。各施設の日常的な支援の実践や事例の中に、「意思決定支援」の様々な要素（カテゴリー）が凝縮されている事が、4年間の事例集で分析され、可視化されました。

そこで、昨年に引き続き人権・倫理委員会では、「意思決定支援の実例」を各施設からご提供頂き、その類似性や特徴及び共通点を分析した事例集を作成することになりました。また、この取り組みを通し、以下の効果がございます。

- ①各事業所での職員一人ひとりが日頃取り組んでいる実際の意思決定支援を意識的に振り返る機会ができる。
- ②日頃の支援を文字に起こすことでより鮮明にイメージできる。
- ③職員が持ち寄った事例を話し合う事で日頃の支援の現状や状況の共有が図れる。
- ④一連のプロセスの中で今まで気づかなかった「発見」や、「改善策（統一支援等）」が見出される。
- ⑤組織全体で把握、整理することで客観的に支援の見直しがなされ、それにより、虐待を未然に防ぐ支援、並びに本人主体の積極的な人権擁護につながる良い機会となる。

日常的に意思決定支援の実践がなされることを期待します。

尚、「意思決定支援事例」の報告用紙にご記入頂き、メールにて9月10日までにご送信下さい。事務局にて集計し、委員会でも検討の上、ご参考までに「委員会考慮ポイントカテゴリー」を加えて、事例集をまとめ、令和2年1月の「虐待防止責任者・管理者等研修会」にてご報告する予定です。ご協力、宜しくお願い致します。

(お問い合わせ先) 福島県人権・倫理委員会 事務局 おおぞらの夢内 担当 松原  
TEL 024-557-2804 mail : oozora@muse.ocn.ne.jp



## 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素(以下カテゴリー)が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、昨年の218件のデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.4」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。(繰り返し、根気よく)
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

## 別紙2[失敗カテゴリー分け要素]

# 本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例における 意思決定支援事例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例につきましては、成功事例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各事例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功事例同様、要素が強い順列でお願いします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました事例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.4」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表出支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

mail: [oozora@muse.ocn.ne.jp](mailto:oozora@muse.ocn.ne.jp) (左記アドレスに Ctrl キーを押しながら左クリックすると返信メールになります。)

## 施設・事業所における「意思決定支援実例」報告用紙

事業種別 \_\_\_\_\_

(送信日 令和元年 月 日)

事業所名 \_\_\_\_\_

サービス管理責任者・氏名 \_\_\_\_\_

### 【作成までの手順】

- ① 全職員（全職種）から意思決定支援の成功・失敗実例を各々1事例作成してもらい、サビ管に提出して頂く。
- ② 全事例の中から特徴あり、分かり易い実例を、職員会議等で2～3の実例に絞って下さい。
- ③ 選択された実例をサビ管中心にその成功・失敗のポイントに下線を引き、成功実例は別紙1（カテゴリー分け要素）の①～⑩の中からカテゴリーを選択、失敗実例は別紙2からカテゴリーを選択し、職員会議等で協議します。
- ④ 事業所内で検討された成功・失敗の実例を各2事例ずつ挙げ、最後に集計状況欄を記入していただき人権・倫理委員会事務局に 9月10日までメールでご提出下さい。

### 【記入上のご留意】

- ① 過去に実際行われた支援で、分かり易い成功・失敗を各2事例ご記入お願いします。
- ② Aさん、Bさんの様に、利用者・職員が特定できない様にご記入下さい。
- ③ 成功実例・失敗実例判断、及びカテゴリーの要素が強い順に3つ以内選び、その判断は貴施設にお任せ致します。
- ④ 文章の文字に制限はありません。配慮出来た・困難だったポイントは箇条書きで記入下さい。
- ⑤ 作成については実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.4」をご参照下さい。

### 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-1.

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・  
・

**事業所判断ポイントカテゴリー**

### 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-2.

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・  
・

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-1.

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・
- ・
- ・

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-2.

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・
- ・
- ・

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【集計状況欄】

成功実例： 全部で\_\_\_\_\_件集まり \_\_\_\_\_件提出。

失敗実例： 全部で\_\_\_\_\_件集まり \_\_\_\_\_件提出。

【ご記入ありがとうございました。】

※ 報告用紙にご記入の上、9月10日(火)までにメールに添付して、人権・倫理委員会事務局（おおぞらの夢内）まで上記返信用メールアドレスへ、ご送信下さい。

※ 実例集作成にあたりましてご記入いただきました内容は、アンケートの集計のみに使用し、処理・集計の目的以外では使用いたしません。また、分析結果の公表時等において施設・事業所が特定されないよう留意致します。

## 意思決定支援実例の結果

### ① 本人の意思決定支援が出来た成功実例

- ・ 居住系 . . . . . P 12
- ・ 日中活動系 . . . . . P 26
- ・ 就労系 . . . . . P 37
- ・ 児童系 . . . . . P 46

### ② 本人の意思決定支援が困難だった失敗実例

- ・ 居住系 . . . . . P 58
- ・ 日中活動系 . . . . . P 69
- ・ 就労系 . . . . . P 78
- ・ 児童系 . . . . . P 85

### ③ 令和元年度 カテゴリー分類図

- ・ 成功実例 . . . . . P 94
- ・ 失敗実例 . . . . . P 96

### ④ 5年間のカテゴリー比較図 . . . P 98

# 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素(以下カテゴリー)が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、昨年の218件のデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.4」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。(繰り返し、根気よく)
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 **A** 障害者支援施設・GH等(居住系)

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 **居 住 系**

**A-1. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

Aさんは入所2年目。創作活動を熱心に取り組む姿が見られており、それ以外にも、希望で塗り絵を行ったり、自室で衣類整理しているのが日課です。本人の能力を活かせる活動がないか職員間で検討。Aさんは日常生活で他の方の使用したコップ等を進んで片付けたり、職員が洗い物をしている側で「大変そうだね。手伝うかい。」と声を掛けてくれることもあり、一緒に洗い物や掃き掃除を試みることに。在宅での生活を思い出し自信に繋がった様子で「洗うかい。掃除するかい。」と積極的に声を掛けてくれることが多くなってきています。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・賞賛しお礼を述べることで、本人の自信に繋がっていた。
- ・本人が希望する時に実施している事で、習慣化されてきている。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑤ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 **居 住 系**

**A-2. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧**

普段から「買い物に行きたい。」という利用者からの希望が多くあるが、職員数の都合もあり、なかなか外出する機会を設けることができなかった。そこで、衣料品店に施設に来てもらう移動販売を企画し、施設で買い物できる機会を提供した。

移動販売とは思えないほどの品数と、「いらっしゃいませ！」という通常と変わらない店員さんの声もあり、施設にいながらにして買い物に出かけたような雰囲気になり、多くの利用者が自ら品物を手に取り、気に入った色や柄を、時間を気にせず選ぶことができ、「買い物できて嬉しかった。」「また来てほしい。」と、とても好評を得ることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・外出する機会を設けることが難しければ、お店に来てもらえばよいと、発想の転換をすることができた。
- ・店側の協力もあり、「いらっしゃいませ」の声かけなど、通常のお店と変わらない雰囲気を作っていた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 **居 住 系**

**A-3. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑥ ⑤ ⑧ ④**

言葉による表出ではなかなか伝わりにくかったHさん。コミュニケーションカード(写真)を作り、カードのやりとりをしたところ、「人に伝える」という経験となり、1枚から5枚までカードが増え、本人の想い、意思を大切にされた支援ができた。(新聞・チョコレート・時計・おもちゃのピアノ・ピアノの電池交換)

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の想いを形にできたこと
- ・誰もがその要求を理解でき、同じ支援ができることで本人の安心・人に伝える喜びを感じられたこと

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑤ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑥**

日中、他の事業所に通っているAさん。その日の体調や精神状態により、口頭での意思表示が難しくなることがあり、直前になって、行く・行かないが決まることが多く困っていた。

そこで、口頭でのやり取りをせず意思表示できるように、通っている事業所の写真やO×カードを準備し、自分で行くか行かないか選択出来るようにした。

職員がいちいち確認せずとも、写真やカードを使って意思表示してくれるようになり、スムーズに行動に移せるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・写真やカードで視覚化し、本人が理解しやすいようにした。
- ・本人の選択、意思表示を尊重し、無理強いすることのないようにした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-5. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑧**

Hさんは外出の際に買い物をするをいつも楽しみにしている。その外出では担当職員とHさんとが話し合い、ジーンズを購入する事になっており、事前にサイズも確かめていた。しかし、実際に店舗に着くと目についた別のズボンを手にとっていた。少し気分が高揚した様子も見られ本人は「これにする。」と言い、購入する気持ちになってしまっていたが、職員がジーンズを手にして「ジーンズを買うんじゃ無かったですか？そのズボンに変えますか？」と本人の持っているズボンと見比べてもらうようにして尋ねると落ち着きを取り戻した様子で「こっちを買います。」と元から買う予定だったジーンズを選び、購入する事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・購入予定だったものを実際に本人に見てもらい、自分が手にしているものと見比べて考えてもらうことが出来たこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-6. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧**

Mさんは苦手な食べ物が多く、特に牛乳が苦手で食事で提供されるといつも残していた。しかし、栄養も摂ってほしいため本人と話し、「コーヒー味なら飲める」とのことで、コーヒー味の牛乳調味料を購入したところ、牛乳を残さず飲めるようになった。また、現在では外出の際に自分でココア味など、好きな味を選んで購入し、牛乳を飲む事が出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の意見を聞き、「コーヒー味なら飲める」と本人に決めて貰ったため、納得して牛乳を飲めるようになった。
- ・買い物の際に自分の好きな味を選べるという自己決定支援につながった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑧**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-7. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑥**

不安いっぱいな趣味から楽しむ趣味へ Aさん（居住系）

競馬が趣味のAさん、居室には古い競馬雑誌が何冊もあり、行われぬレースの情報を拾い上げ「〇〇レースが見たい」「〇〇レースをテレビでやってほしい」という要求が絶えず、叶わないと自傷、他害、物損を繰り返していました。職員も嘘の情報を与える事は出来ない為「〇〇レースは終わったからまた来年です」と答える事ができずAさんはその発言から不安になることも多かったです。そこで、居室内の雑誌を整理、余暇である毎週火曜日の雑誌購入時に先週購入の古い雑誌と今週購入した新しい雑誌を交換し雑誌には「今週のレース」の情報が記載されているため見通しを与える事で混乱を軽減。今までは目に入るレースを手当たり次第発言していたAさんは、「今週は〇〇レース」「〇〇レースはまた来年」と記載情報を的確に拾い上げ毎週の競馬レースを純粋に楽しめるようになりました。職員も「今週は〇〇レースだね」「〇〇が出走するね」と正確な情報を与える事ができ本人も自分の発言が正しいことで不安軽減に繋がる事が出来ました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・居室内の情報の多さを整理、本人、職員が分かりやすい情報の提供を行った。
- ・肯定的な声掛けで不安を軽減、楽しみを共有することで興味の幅を増加

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-8. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑤ ⑦**

興味のあることから芽生えた意思 Bさん（児童系）

ギターを弾く事が好きなBさん、本人から友達とスタジオを借りてバンド練習をしたいと申し出あり。当時ADLの身に付きがほぼなく、金銭管理、一人での公共交通機関の利用はなし。思いは強いが手間がかかることを好まず、飽き性、楽をしたい性格なため今まで金銭管理は職員、公共交通機関の利用練習はせずいた。（誰かがやってくれるからいいやと思っていたとのこと）将来的には在宅から就労し母親を助きたい思いがある、母親も自身の事は自分で行って欲しいとの思いがあった。唯一熱中できているギターを励みに金銭管理、公共交通機関の練習を促すと「やってみる」とのこと、職員が付き添い、練習を重ね、賞賛し続ける事でモチベーションを維持。練習先では買い物やレクリエーション（ボーリング・カラオケ等）を行い帰宅する事で成功体験を獲得、3カ月後、一人で電車を利用し、スタジオ借りることに成功。もちろん外出計画書は自身で作成。今では毎週出かけるためのお金を稼ぐためバイトを探し中。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・興味のあることから経験値を増加。
- ・成功体験を繰り返す事で自信につなげた

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-9. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ① ⑧**

グループホームで生活を送る A さん（女性）。余暇活動でいろいろな料理やおやつを食べたいが、行ったことのない店のメニューや料理・おやつ値段、注文方法が判らないとの話がある。店の広告やホームページで情報を提供し、頼み方について説明。食べたいと思っていたクレープを自身で注文し食べることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・写真当等を利用し情報を判りやすく伝えることができた。
- ・利用者の意思（気持ち）に寄り添う支援に留意し日頃から交流を図った。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-10. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ④**

A さんは普段から水を飲みたいとの要求が多くあった。

職員と一緒に洗濯たたみをするなどの役割をこなした後の水分補給を続けていると、いつ水が飲めるのかが理解できるようになり、過度な水の要求が少なくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・水が飲めるタイミングを A さんにとって分かりやすい方法で伝えた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑧ ⑩**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-11. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑥ ③ ⑧ ⑤**

利用者Mさんは弱視であり、精神科薬服薬の影響もあって日中は座り込んで居眠りをしていることが多く、活動も短い時間ウォーキングに参加するのみであった。楽しく充実した生活を送れるよう、何か興味のある事を提供できないかアセスメントを進めていく中で、テレビの音に耳を傾けて笑顔を見せながら見られている事や、服薬の影響が強くなる以前は音楽を好んでいたことが分かったため、毎日定時に本人が好みそうな音楽を提供した。音楽が聞こえるとニコニコして手を叩いて喜んでいる様子が見られ、継続する事で自発的にその時間になると音楽の提供を行っている場所に来て待っている姿が見られるようになった。始めは決まった音楽を提供していたが、様々な種類の曲を提供して本人の表情や仕草等の反応を確認する事で、どういった音楽が好みか確認して提供するようになった。現在では服薬の調整も併せて行う事で、居眠りしている時間は大幅に少なくなり、音楽を楽しむ時間とともに表情豊かに職員との関わり等も楽しむ時間も増え、充実した生活につながっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の特性等の把握（アセスメント）と、それに基づいた情報提供や支援の方法を考えることで、本人の満足につながった。
- ・言葉だけではなく、表情や仕草から思いを汲み取り支援することができた。
- ・生活の充実や活動性を高めることへつながった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-12. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ① ⑥**

利用者Sさん（男性）は自分の興味がある物を、独特で解読が難しい文字を使用して紙に書き、ケース担当職員に伝えてインターネットを活用して調べている。昨年度まで女性職員がケース担当をしており、自分が思ったとおりの物が調べられないと他害行為や自傷行為に発展していた。今年度からはケース担当を男性職員に変更し、本人の趣味嗜好を同性の視点で理解できるよう配慮して調べ物を行うことで満足を得ることができている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の要求になるべく応えるようにしてきた。
- ・本人の要求に対して調べる事が出来ないものは理由をきちんと説明して理解を得た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ① ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-13. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④**

普段からコーヒーしか飲まない方がいたが、施設内にある自販機の写真を見せたり、飲み物の味を説明したりすることでコーヒー以外の物を選び、「おいしい」と言っていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・写真を見せたり、味を説明したりすることでイメージが付きやすいように配慮した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-14. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

Aさん、30代女性。10年間、一般就労として働いていたが、人間関係の悪化から退職。就職活動をする事となる。Aさんは、基本的な挨拶や目を見て話すのが苦手で、表情も固く、受け答えが素っ気なくとられてしまうので誤解されやすい。就職活動では、同じサービス業を選んでいる。しかし、面接で課題だった「表情」「挨拶」で不採用。この不採用で危機感を覚え、今までは職員の言葉は受け止めきれないことが多かったが、「克服するためにどうすれば良いか知りたい」とご本人から職員への相談があった。ご本人と話し合いながら重点的に練習に取り組んでいくことを箇条書きにした。「基本的な挨拶の仕方」「敬語の使い方」「鏡を見ての挨拶の練習」などが挙げられ、真摯に繰り返し自主的に練習している。二度目の面接では、声が大きくなり、表情が柔らかく、自信を持って臨むことができている。採用の結果となり、現在は、仕事の話を楽しそうにするなど、以前よりも生き生きとしているよう感じられる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・克服する課題は、仕事に関わらず、生活する上で大切なことだと伝えた。
- ・練習することで、明るく元気になっていっている姿を客観的にご本人に伝えながら、楽しく課題解決するよう努めた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-15. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑤ ⑦**

寝具類を購入したいと要望のBさん。ご本人のみでインテリアショップへ行って見積もりをもらってきたが、後日、職員と改めてインテリアショップへ。Bさんは、初めてベッドを購入するため不安な様子も見られたが、職員と一緒にいることが安心材料になったようで、店員から展示ベッドに横になるよう促され、じっくりと体に合ったベッドを選んでいる。また、居室の間取り図を出し、配置について店員とイメージが持てるよう促した。長い時間を掛けながら、納得できるベッドを購入することができた。買い物後のBさんはとても嬉しそうだった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・できるだけご本人の意向が表出できるよう、時間をかけて本人の決断を待った。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑤ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-16. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑥**

買い物や外出がしたいと要望の強い利用者さんに対し、不安定な日に他の職員と協力して外出を行なった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・不安定な時に話し合った。
- ・他職員の外出時に同乗させてもらいドライブをした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-17. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ②**

テレビで歌が流れてくると「この歌知ってるよ」と言って口ずさむMさん。園で行うカラオケでは、歌いたい気持ちはあるようだが、恥ずかしがり、聞いていることが多かった。そこで仲良しのWさんと一緒に歌うことを提案すると二人でマイクを持ち笑顔で歌うことができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・他利用者と一緒に行動することで恥ずかしいという気持ちを軽減し、歌うことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-18. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑧ ⑥**

特定のキャラクターが大好きなAさんは同じぬり絵を何冊もこなしていた。Aさんから「新しいぬり絵が欲しい」と申し出あり。要求が通らないと大騒ぎすることが常であり、PCから新しい画像を何枚かプリントし渡すと自分で選び笑顔で行うことができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Aさんの希望を受けてすぐに対応できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-19. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑦ ⑧ ⑥**

自分の意思を口頭で示すことができないBさん。視力が弱く聴覚と触覚を中心に好みの物を提供している。外出でショッピングモールに出かけた際に時間をかけて、実際に触れたり聴いてもらったりして商品を購入することができた。現在も気に入って利用できている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員の思いではなく、自分で選ぶことができた。
- ・多くの選択肢の中から選ぶことができた

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ② ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-20. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑧ ⑤**

Iさん50歳女性。グループホームでの食事の際、手が震えており食事が進まず声掛けする。以前より箸を持つ右手が震え食事が思うように食べられない時があったり、本人より「なんで私の手震えるの」「手が震えるから食事いらない」と後ろ向きな気持ちの言葉が聞かれ「どうしたら食べられる？」と相談あり。手の筋力をつけるようアドバイス。簡易なりハビリボールを数個準備した上で毎日1回取り組むことを提案。今まで皆で運動することを拒否していたが、本人用のボールを準備したことでスムーズに取り組むことができた。またボールを握ると音と光で反応することで目と耳で取り組んでいることを実感。1か月継続できている。取り組んだ成果はまだ見えないが、本人より「手震えるけど残さず食べられているよ」と話あり。またリハビリボールを使用することで支援員や世話人とのコミュニケーションの機会も増えている状況。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の相談を受けて情報提供をおこなった。
- ・本人用のボールを準備することでスムーズに運動に取り組むことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-21. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑦ ⑥**

Bさんは歯磨きが苦手で、あまり口を開けることが出来ず、歯磨きをしないで就寝してしまうことがあった。Bさんの居室に場所を決めて歯磨きセットを準備し、食後声掛けを行った。初めのうちはスムーズに出来なかったが、繰り返し行うことで、Bさんも自分で歯磨きセットを取りに行き、徐々に口を大きく開けられるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・繰り返し行うことで、本人もスムーズに行えるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-22. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑧ ⑥**

日中活動時に全員で除草作業に取り組んでいた。Aさんは、普段だと黙々と取り組んでいるが、その日は手が止まっていた。どうしたのか尋ねると、「やりたくない」と答えている。職員から室内で取り組む作業を何種類か提案すると、「やる」と答え、その後は活動終了まで手を休まずに取り組むことができていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・何種類かの作業を提案したことで、その日の気分にあった作業を活動終了まで取り組むことができた。
- ・普段と違う様子なので声を掛けたこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑧ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-23. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧ ④**

買い物の際、欲しい物は決まっているが、色や形、大きさなどを自分で決めることが難しいSさん。

「職員さんが選んで。」と言うことが多く、職員がSさんの好みを推測して数点選び、その中からSさんに選んでもらうようにしていた。「これ良いと思う。」と言い、数点の中からは選ぶことができていたが、本当に気に入っているのか分からず、気付くと職員はもちろん、本人も毎回同じようなものを手に取っていた。

そのため、好きな色や柄の他に、町やテレビ、雑誌等で見た人の服装や日用品で良いなと思ったものはあるか聞いたり、購入するお店を変えたりすることで、Sさん自身の「こういうのが良いな。」という言葉も増え、職員の推測も本人の好みに近づき、職員もSさんも手に取る物が同じようなものばかりではなくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本当に欲しい物を選ぶことができるよう、質問の内容を工夫したり店を変えたりすることで、以前とは違った本人の反応や言葉を引き出すことができた

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑧ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-24. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑧ ② ⑥**

買い物支援の際に、旅行で着る衣類を購入する。最初は何のための衣類を購入するか説明をしていなかったので「いらね。」と言い、衣類を選ばなかった。「旅行で着る服を購入しませんか。」と話をすると笑顔になる。好きな柄や手触りを聞きながら、好みの服を選び購入することが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・何の目的で購入するかを説明し、衣類が必要かどうかを判断してもらった。
- ・本人が好みの衣類を選べるよう、好きな柄などの特徴を細かく聞いた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑧ ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-25. **委員会考慮ポイントカテゴリ ① ⑦ ⑥**

外食体験の際に写真付きのメニューを提示してもらった。すぐ選ぶことが難しい利用者もいたが、時間をかけてメニューを見て、自分の好きなものを選ぶことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・写真を使用しわかりやすく提示した。
- ・メニューを自分で決めるまで急かさずに待った。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ⑦ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-26. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑥**

利用者 K さんは食事の際職員に対し「御飯が柔らかい」と訴えた。以前、本人より御飯が固いので柔らかい御飯、柔らかい御飯にしてほしいと話があった為、やわらかい御飯を提供していたのだが、本人の話を聞いて今回の本人の訴えから普通の御飯を提供することとした。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・「本人が食べたい御飯」に対し柔軟に対応したこと。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-27. **委員会考慮ポイントカテゴリ ⑥ ③**

入浴や洗体・洗髪を行いたがらなくなった I さん。以前は自分で行っており、自分で行う力もあるため自力で入浴できるよう励ましていたが、なかなか改善されず。本人と話し合った結果、支援者が介助するなら入浴するとのことで、しばらく介助しながら洗い方を工夫したり道具を使用したりしたことで「今日は大丈夫」「一人で入る」など自ら入浴できることが増え、現在は自分でルールを決めて自主的に入浴するようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人のできることでも手伝ってほしいという気持ちに添えた。
- ・やる気を引き出すための創意工夫が功を奏した。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-28. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑥**

肺炎で長期入院をした利用者が施設に戻りたいとの意向がありました。施設ではその方の状態から必要な支援について不安がありました。その後、病院と会議を重ね、必要な支援や介護用品を検討しました。結果、その方は戻ってこられ、亡くなるまでの約一ヶ月間、施設で生活することができました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人や家族の意向を考え、施設で生活できる環境整備をしました。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ⑥ ⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-29. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ④ ⑤**

グループホームに行きたいと希望があり、本人のグループホームへの移行について施設で検討し、家族へ本人の意向を伝え相談支援員中心に進め、グループホーム移行となる。本人の、意思確認いながら計画を立て①本人、家族との話し合い②本人の GH 体験③GH へ移行後の生活④福祉サービスの利用等本人、家族、関係機関と検討して進めてきた。GH へ移行後の生活状況と様子みに訪問したところ「楽しい」と返答あり。移行後も当施設の生活介護を利用し GH 連携しています。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人、家族に GH 移行についての状況の説明を行い GH への訪問（家族本人）、体験を行い本人がイメージ持てたこと。
- ・本人に聞きながら相談支援事業所を中心に進めたこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-30. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

本人からお盆に墓参りをしたいと訴えが有りました。場所も分からなかったため、保護者に連絡を入れ本人にも聞き、場所を特定しました。それから介護タクシーの料金や手配、お墓参りには何が必用なのか、本人と検討をし、結果お墓参りをすることが出来ました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・お墓の場所を特定するために、本人や保護者と話をした。
- ・お墓参りに必用な物品や介護タクシーの手配を本人と検討した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-31. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑧ ⑥ ① ⑦**

視覚障害のある利用者 A さんが旅行に行くことが決まると、買い物、特にお土産を買う事を楽しみにしている様子が窺えた。そのため、出発前までに行き先のお土産リストを作り、誰にどんなお土産を購入したいのか、値段、内容などを本人の納得いくまで情報提供して事前に決めておいた。当日はスムーズに買い物が出来て喜んでもらった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の希望（誰に何を買いたいか）を事前にゆっくり決定する時間を設けた。
- ・お土産はどんな物（大きさ、賞味期限、個数など）かを具体的に伝え、見えなくても本人がイメージを持てるよう説明を加えた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-32. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

利用者 S さん。眼科医より白内障の診断を受ける。しかし、S さんには元より網膜色素変性症の疾病があった。医師からは手術をしてどの程度の視力の回復が望めるか等の話もあったが、会話の中で本人より「手術して見えるようになりたい」との強い意向が聞かれ、話し合いの結果手術を実施した。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・病院の医師、施設の看護職員・支援員など、関わった人たちが本人の意思を汲み取りながら対応した。
- ・保護者からの協力態勢が全体的に良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-33. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑧ ③ ⑥**

昨年度、施設のオプション旅行を3つのグループに分けて実施した。その中の1つのグループは、久方ぶりに宿泊を伴う旅行であった。宿泊旅行を経験した利用者の方から「また来年も行きたい」との要望が聞かれ、今年度も早い段階からアンケートにて意向調査を実施した。意向調査を受けて旅行担当職員が旅行会社とプランを検討し、宿泊旅行プランを2つ、日帰り旅行プランを1つ用意し、どこに参加したいか希望を聞いた。希望調査の結果、宿泊を希望する方が多く、今年度は2つのグループが宿泊旅行、1つのグループが日帰り旅行として計画を進めていった。7月に磐梯熱海温泉方面へ宿泊旅行、9月にディズニーランドへ宿泊旅行を実施し、11月にはひたち海浜公園へ日帰り旅行を予定している。今年度は宿泊旅行に参加した利用者の方も多くなり、皆さんとても旅行を楽しんでいる様子だった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・宿泊旅行を経験することで「また行きたい」との意思が形成された。また、宿泊旅行を経験した利用者の方が、まわりの利用者の方に宿泊旅行の楽しさを語り広げ、今年度はより多くの方が宿泊旅行に希望することができた。
- ・宿泊旅行実施に向けて、旅行担当職員が早い段階から準備を始め、旅行会社と入念に打ち合わせを行い、実施することができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑤ ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-34. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑤**

男性利用者で、時計が壊れてしまったので弟に連絡をし、修理を依頼したいがどう伝えて良いのかわからないので協力して欲しいとの話があった。支援員が弟代わりになり、シミュレーションをし、どの言い方だと伝わるか確認を行った。その後、実際に弟に電話をし、伝えたいことをちゃんと伝えることが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・実際の場合を想定した、シミュレーションを行った。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-35. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ③ ⑦ ⑤

女性入居者で、障害者雇用で企業に就職したが人間関係が原因で退職。その後、精神的不安定が続き、なかなか就労できない状態だった。お金の面で焦りだし、「早く就労してお金を稼ぎたい」との話はあったが、焦らず計画的に進めていくこととした。就労系の事業所を数か所見学、体験し自分に合った事業所を選択し、1年間通う中で就きたい職種においても選択し、体験も数回繰り返すことで、障害者雇用で就職することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・しっかり関係者同士が本人の意思を確認、情報を共有し、その情報を本人に的確に伝えられた。
- ・体調が優れないときは、本人の希望する病院へ同行し、本人が主治医に伝えられない部分を代替的に支援したこと。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ② ③ ⑤

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-36. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ⑥ ③

**ご家族の反対もあったが周囲のサポートでグループホームへ移行できた A さん**

グループホームへの移行を希望されている A さん、しかし家族は将来の事や金銭面の事を心配され施設での継続利用を希望されていた。担当の相談員にも協力して頂き、ご家族への電話や面談を繰り返してきた結果、ご家族も納得されグループホームへの移行が決まった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の意思を一番に考えて、サポートすることができた。
- ・相談員にも協力いただけたことが大きく家族の心を動かせた。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ③ ⑥ ⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-37. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ③ ⑥

A さんはコーヒーが好きで毎日コーヒーが飲みたいと訴えてきた。服薬もしていることから、看護師、管理栄養士に相談し、本人の健康状態や情緒面も考慮し毎朝コーヒーを提供することとなった。その後、徐々に訴えは減ってきて本人満足している様子がうかがえた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の毎日コーヒーを飲みたいという意思を尊重し、実現することができた。
- ・専門職に相談し、本人の健康状態も配慮した。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ③ ⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-38. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ④**

摂食不良により低栄養状態で入院していた方が7月より入所。入所前の情報では環境の変化に弱く行動停止も見られる方。病院からは「食べられる時に食べれるものを」と話があり本人が好む缶コーヒーとお菓子を準備してティータイムの時に食べてもらっている。入所後目立った残食はなく摂取することが出来ている。「M社のハンバーガーが食べたい」とのことで職員と外出しハンバーガーを食べています。その際、嗜好品の導入も本人が選んで購入しています。本人より「〇〇〇（当事業所名）は楽しいところだ」、「体重を増やしたい」と前向きな発言も聞かれるようになってきた。「お菓子を食べすぎて食事を残すことがないようお願いします」と話しかけると「分かっているよ」と笑顔で答えています。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・接触不良への不安を取り除く働きかけ・声掛け
- ・外出も好きなので定期的に機会を設けてモチベーションを持続する
- ・本人の希望意思を尊重し、実現することで意欲的な発言が聞かれるようになってきた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-39. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑧ ③ ⑥**

Aさんはファッション雑誌が好きで、担当職員がお店で購入し渡していた。今まで外出する機会が少なく不安ではあったが、事前に日程やお店の写真を本人に見せ選択してもらい外出をした。当日、今まで以上に 発言が増え、店内では興奮する様子もあったが自分で本当にほしい雑誌を購入することができた。本人より帰りの車内ではまた行きたいと発言が聞かれた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人に選んでいただくことで本人の意思を尊重し、楽しみをすることが出来た。
- ・事前に写真で知らせることで安心することができたと感じた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧ ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-40. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

Aさんは着替えをする際、間違って脱いだ服をもう一度着てしまうことがあった。Aさんが着替えをする際に、脱いだ服は一度床に置いて、着る服を本人の隣に置くことを説明した。Aさんはそのやり方で、スムーズに着脱が出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・着脱の際に衣類の場所を決めたことで、本人がスムーズに出来るようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑤**

A-41. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

Sさんは40代女性。知的障害と身体障害を併せ持つ方である。養護学校卒業後、5年程入所施設利用の後自宅へ戻り、精神科のデイケアを利用しながら父親と2人暮らしをしていた。しかし、機嫌が悪いと父親とケンカになり、暴言・物投げ・蹴る等があり、精神科病院入院や短期入所利用を繰り返した後、施設入所となった。

入所後は、体調不良を訴えては治療や通院要求を行い、すぐに要求が通らないと大声で怒る、暴言を言う、物を投げる、自分の腕を噛む等を行った。また、職員や友人とのやり取りで誤解をしたり、帰省要求してすぐに訴えが通らないと同様の行動が見られた。一度怒り始めると半日以上続くことがしばしばあり、いったん落ち着いても対象者を見ると思い出してまた怒り始めるということが繰り返された。そこで、Sさんの困っていることについて聞きとり、体調不良時の対応についてご本人と話し合ってルールを決めたり、気になる外出や帰省について事前確認して予定を伝えることを行ったり、他者とのやり取りで困った時は訴えを聞いて統一対応を行うことにした。また、自分で気持をコントロール出来る方法についても話し合い、約束を守ってのメリットも理解できるように支援した。自分のしたいことだけをしたい時間に行き、飽きると他者を求めて要求を繰り返し、すぐに要求が通らないと怒って訴えるということも見られたため、他者と活動する日課や楽しく関わることのできる取り組みを行ったり、適切に関わるためのやり取りの取り組み等も行った。(ご本人の理解を促すため、表やスケジュール等視覚化して提示した)

はじめは、主に支援員による統一支援であったが、Sさんがさみしくて怒ったり、困って怒っていることを知った周りの友人が、徐々にSさんの話を聞いて慰めたり、共感したり、解決方法についてアドバイスする等が見られるようになった。Sさんは、友人相手にも同じように泣いたり怒ったりして落ち着くまでに時間がかかり、時に友人も距離を置くことが見られた。しかし、活動や取り組みを通して友人と過ごす時間が増え、友人たちも同じように困ったり、怒ったり不安な時やさみしい時があること。その時に怒って騒ぐのではなく、友人に訴えて話を聞いてもらって慰められたり、支援員に怒らないで訴えて話し合って解決していること。できることは自分で行き、自己コントロールをして約束を守って仲良く生活しようとしていることを繰り返し見るようになった。そこで、Sさんの「みんなと仲良く生活したい」という気持を確認し、仲良く生活するためのやり取りの方法や自己コントロールの方法について都度振り返りを行うように支援した。

すると、徐々に、イライラして怒っても友人や職員の声かけを受けることで、大声での暴言や物投げや自分の腕噛みを行う回数が減り、落ち着くまで自己コントロールの方策を行うようになり、長時間怒り続けるということも減っていった。入所当時は、困ったり、さみしかったり、不安な時やイライラしている時に怒って騒いで要求を通すという関わり方を選んできたSさんであった。しかし、仲間に受け入れられ、安心して生活し、仲間と同じように理由を伝えてやり取りする中で課題を解決していくことが良い方法だと理解するようになると、自分も友人や職員とやり取りを行うことで課題を解決する方法を選んで行うことができるようになってきた。

更に、ご本人の生活の様子にも変化が見られた。例えば、自分から予定表を見て行事や外出を楽しみに待てるようになり、余暇で行っているパズルを次々に新しいものを購入するのではなく、3回行ってから新しいパズルを購入するというルールも守れるようになった。また、食べ物にこだわっていたのが体重を気にしてダイエットに取り組むようになった。友人関係では、「〇〇さんがいないと寂しい」と言うようになった。

以前は自分中心で物事を考えていたのが、相手の気持ちを考えるようになり、相手の都合や要求に応じられるなど、ご本人の考え方が変わり、成長が見られた。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・他者に受け入れられながら仲良く生活したいという本人の真の要望に応えられるよう、他者に受け入れられて生活できる経験を積み重ね、かかわりの際に意思を適切に表出したいと思える人・環境的支援を整えたこと。
- ・体験を重ねながら表出する方法を自己決定できるように支援し、成功体験を積むことで実施できることが増えたこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑥ ⑦ ①**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】 A 生活介護等（日中活動系）

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

日中活動系

A-42. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑦ ②

Kさんに外食支援の食事メニューについての聴き取りを行う。「絵」「写真」「動画」等いくつかのツールを使ったり1度だけでなく、時間や日にちをあけ再度聴き取りを行った。

「いやだ」と発言した場合も表情の変化を確認しながら行い、職員間でも相談しながら支援にあたった。実際、食事に出かけた際には自分が選択したメニューを自ら手を伸ばし食べることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- いくつかのツールを使用し時間をかけることができた。
- 家族の方から「好き嫌い」の正確な情報があつた。

事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑦ ③

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

日中活動系

A-43. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ③

日中の活動でDVDを観ている利用者を羨ましく思っていたOさん。自分は作業を優先したくなかなか言い出せなかった。生活支援員が声掛けし余暇活動の時間で観ることを勧めてみる。自宅からポータブルプレーヤーを持参している。以前よりも通所する楽しみが増え余暇活動にて「何観ようかな？」と嬉しそうに笑顔を見せることが多くなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- Oさんの意見を引き出せるように傾聴し実現できた。
- 事業所はヘッドホンやDVDを提供できた。

事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ③

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

日中活動系

A-44. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑥ ⑦

Aさん（男性、重度、自閉症、事業所を利用して5か月目）

Aさんは余暇活動でスイーツ作りを希望されて参加したが、スイーツ作りは初めてだった。最初は声かけしても「やらない」といって隣の部屋の食堂で過ごしていたため、本人が見える場所で職員がスイーツを楽しそうに作っていた。すると、Aさんも少しずつ近付いて来て作っている様子を見に来るようになった。「一緒に作りますか」と声かけしたところ、自ら材料を取って生クリームを絞ったり、トッピングしたりしてスイーツを作り、最後は表情良く出来上がったスイーツを食べることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- 「やらない」という本人の言葉を受けて、初めての活動でどんな事をするのか分からないため拒んでいると推測し、本人に分かりやすく伝えたことで、本人の不安を取り除くことができた。
- 興味を持てるように、職員が楽しく見本を示した。
- 本人が自ら興味を持ってやってみようと思うまで待つことができた。

事業所判断ポイントカテゴリー ⑦ ⑤ ⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-45. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑥ ③**

Bさん（女性、重度、ダウン症）

作業前の打ち合わせ時、これからパンの外販売の予定があることを職員が利用者全員に向けてお伝えしていると、Bさんが「パンはんばい」と明るい口調で職員の言葉を繰り返した。職員が「パン販売行きたいですか？」と尋ねると、Bさんは「いける！」との意思表示があった。更に、普段は行動がスローペースであるBさんが、脱いでいた靴下を率先して自ら履き、スムーズに出かける準備をしていたため、「パン販売に行きたい」気持ちがあると捉えて、Bさんにとっては初めての販売場所であったが、職員と一緒にパンの外販売にでかけることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が明るい口調で「パンはんばい」と話したことを、オウム返しとは捉えず、本人の口調から販売に行きたい気持ちがあるのではと推測して意思確認をした。
- ・本人のスムーズな行動から、パン販売に行こうとする気持ちが多いにあると捉えた。
- ・その後、実際にパン販売に出かけ実現できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑥ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-46. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ② ⑧ ⑥**

お話もでき優しく面倒見が良い男性利用者。自分の作業をしていると別の利用者から「ミサンガを作ってほしい」とお願いされる。今までは快く依頼を受けていたが、この時は表情がくもり泣きだしそうだった。その場で「どうしましたか？」と問うと答えることができなかったため場所を変え再度伺うと「今日は自分の作業を頑張りたいから断りたい」とのことだった。でも、それを女性利用者に伝えられず困っていた様子だった。そこで、言葉だけでなく手紙を書いて伝える手段があるとお話すると「やってみよう」と前向きになり、自分の思いを伝えることに成功した。それ以降言葉で言いづらい時は手紙で伝える場面がみられるようになり、新たな表現の仕方を身に着けられたようだった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が自分の思いを表現しやすい環境（個別に聞く）、手段（手紙を書く）を提供できた。
- ・いつもと違う表情をキャッチできた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-47. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ② ③**

外作業があまり合わないと思われていたOさん、室内作業のストレスが溜まった際に一度気分転換に外作を経験してから、当然のように自ら外に出ていき、表情よく外作業に参加している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・体験を通して、本人の活動の幅を広げ、より良い活動に繋がった。
- ・支援者の先入観で、活動を提案せず、別の活動を選択する機会を作った。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ②**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-48. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑥ ⑦ ⑧**

作業の打ち合わせ時間になると怒りだし、廊下へ出て行ってしまいかたがいて、その状況がしばらく続いたため、ご本人とどうしたら打ち合わせに参加できるか相談したところ、自分専用のホワイトボード（目標、結果記入用）があると良いとのことだった。次の日から専用のボードに切り替えたがあまりスムーズにはいかず様子を見てみると、のんびりしたい時や、本を読んで過ごしたい時に素直に言えないように見受けられたため、作業とのんびりを選択できるようなカードを作成したところ選んでくれるようになり、専用のボードにも自分で名前や目標、○の記入ができるようになった。また、本人のタイミングを待つことにより効果が上がった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人と相談して対応策（ボード）を準備した。
- ・本人が職員に気持ちを伝えられるようツール（カード）を準備した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-49. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

作業ズボンに穴が開き破れている状態であっても、気に入って履いており、交換するように声かけするが応じることなく、履き続けていた。Hさんは1ヶ月の予定などカレンダーを用いて確認する方だったので、「年末」の区切りに、カレンダーに「新しいズボンを履きます」と書き込む事で、新年には新しいズボンにスムーズに着替える事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の思い入れ、こだわりに考慮できた。
- ・本人の意思を受け止め、時間はかかったが解決できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-50. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑥**

外食活動の際に事前に食べたい物を写真カード等を用いて聞き取りし、好みのソース焼きそばがある食堂へ行ったが、当日のメニュー表よりAさんが選んだ物がチャーシュー麺だったので、再度写真で確認し注文した。チャーシュー麺が運ばれてきて、表情良く笑顔で完食した。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・事前の希望と当日の本人の希望に変更があったが応えられた。
- ・写真や言葉等で何度も確認し本人の希望を叶えることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ② ① ⑧ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-51. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑧ ⑦**

余暇時間に何をしたいのか、自分の意思を表出することが難しいBさんがいる。やりたいことがあっても、自分の意思とは異なる意思表出（反対の事を言う）色々な理由を職員に伝えてきて、やりたいのか、やりたくないのか職員のほうでBさんの意思が汲み取れない時がある。職員が周りの状況や自分の思っていることを言って良いんだということの説明すると、自分で納得し、決定することができている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・活動自体が嫌ではないことは分かったので、情報を個別にお伝えした。

時々、やりたくないことを他の理由にしていることもあるので、本人からよく話を聞くことが大事。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧ ③ ②**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-52. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑦ ⑧**

Aさんと個別外出に出かける際にファーストフード店で食べたい物を食べる機会があった。自分で食べたい物を決められないため、外出する前に写真でメニューを提示して決めて頂いた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

時間をかけないと決められない利用者さんだったので、メニューの画像や種類の説明の情報を提供し、じっくりと本人に考えてもらう時間の余裕ができた。結果、メニューを決めることが出来て良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-53. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

通園バスを利用しているFさん。降園する際、通常はバスの停車場所が決まっているが、雨天時には利用者の方々が濡れない様、バスを玄関前に停車し、乗車して頂く。通常と違う動き、流れとなる為、Fさんはスムーズに動きが出せず、拒否が見られた状態のままバスの出発時刻となり、バス乗車できずに家族の迎えで帰宅となってしまった事がある。後日（小雨）、事前にバスの運転手に状況を説明し、いつもの場所に停車していただく事とした。時間になるとスムーズに職員と一緒に傘をさし、バスに乗車することが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・いつもと異なることが苦手…いつもと同じ行動にし、柔軟に対応した結果バスに乗車できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥ ⑦**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-54. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑥**

連休明けのため生活リズムが崩れてしまったのか、普段は昼食前になると食堂の様子を見に行く事が好きなKさんが、活動室のソファから動かず食堂に移動することを拒んだ。様子を見守りながら声掛けをするが、動く様子は見られなかった為、箸とコップ（具体的な物）を本人に見せながら声をかけると、箸とコップを受け取り、食堂へ移動することが出来た。その後は、普段と変わらない様子で昼食を楽しんでいただけた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・具体的な物を見せたことで、昼食の時間であることを伝えることが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-55. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③**

自発的に自分の意思を伝えることが少ないAさん。手芸が好きで、手芸の本を見ていたので、声掛けをすると巾着のページを指差し「作りたい」と話があった。後日買い物活動があったので、本人に話をし、一緒に手芸用品を見に出かける。店内を見て回り巾着に必要な材料(布と紐)を自分で選び購入することが出来た。その後活動の時間に巾着を作り喜んでいた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の希望に気づき、対応することが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-56. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑧ ⑤**

毎年、園で旅行を実施している。一昨年までは一泊旅行だったが、利用者の高齢化等に伴い、昨年度は初めて日帰り旅行を実施。3つコースを準備し、それぞれ希望をとり参加した。

初めて日帰り旅行を経験したことによって、今年度は「泊まりで旅行に行きたい」という利用者の希望が明確化した一方、昨年日帰り「演歌コンサート」に行った利用者数名からは、「泊まりでなくても良いので、もう一度演歌コンサートに行きたい」という希望があがった。

今年度の旅行を計画するにあたり、大多数の「泊まりで行きたい」という意見を取り入れ、一泊旅行を計画することにしたが、数名の「泊まらなくても良いから、コンサートに行きたい」という希望も取り入れ、日帰り演歌コンサートにいくコースも設定することにした。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・昨年度、初めて日帰り旅行を経験したことで、利用者の中で「もう一度泊まりで旅行に行きたい」という希望が明確化した。
- ・昨年度、演歌コンサートに実際に行ったことで、今まで行っていた泊まりの旅行と日帰りコンサートを比較し、「日帰りでも演歌コンサートに行きたい」とはっきり意思表示ができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-57. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③**

登園し間もなく、落ちつきなく奇声を上げるTさん。季節の変わり目で暑くなってくると規制が多くなりがち。家庭との連絡簿にも夜中や早朝に起きだしているとの記載があった。作業中も眠いのか、奇声をあげアピールすることが度々ある。職員から口頭でも眠気はないか確認し、本人に午睡するか尋ねると寝るとのことで休む。6月～7月中ごろにかけ、何日かそういった日があり本人の眠気に合わせ午睡の導入を図った。7月下旬にかけては奇声を上げることも減ってきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・眠い、寝たいというアピールを奇声という手段で周囲の会話を遮って訴えているのではないか。
- ・家庭での夜間の様子、睡眠状況、時間など連絡簿を通じて把握する。
- ・眠い時、落ち着かない時には本人に眠気の確認をしようえ午睡するよう促す。
- ・職員から導入することで眠ってもいいという安心感が、本人も持つことが出来るようになってきている。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-58. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑧ ⑥**

準備をしていた作業を終えようとしていた利用者さんが「段ボールやる」と次の作業を催促。スケジュールでは、タブレットで動画を視聴する時間だったため、絵カードでどちらが良いのか確認。動画鑑賞を選択した。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・絵カードで視覚的に支援した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ①～⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-59. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑥ ③ ⑧**

外出活動が好きでTさん。自分から行きたい場所を伝えることが苦手なこともあり、Tさんの想いを形にできるように行きたい場所を活動に取り入れることにした。音声言語でのコミュニケーションが難しいため、始めは指差して訴えができるように複数の情報誌などを提供して、Tさんに自由に選んでもらうことにした。その中から、ケーキの写真を何度も指差し訴えるようになったため、ケーキを食べに行くことにした。次に、行く店を決めるために複数の店のケーキメニューの情報を提供して、Tさんに行きたい店を選んでもらった。活動日当日は笑顔でケーキを食べるTさんの姿が見られており、Tさんの想いを形にすることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・予め決められた活動から選ぶのではなく、外出活動という大枠の中から本人が自由に行きたい場所を決めることができた。
- ・写真など視覚的な情報によるコミュニケーションが図れるため、複数の情報誌を提供することで、本人の想いを知ることができた。
- ・個人の想いを実現できる支援体制や環境があった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-60. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑧**

対象利用者：Oさん 知的障害・自閉症 男性 31才

外出活動が好きなOさん。落ち着きがなくなると、室内を行き来したり事業所から出ようとしたりしていた。その為、「外出・音楽鑑賞・ミニカー遊び」などを選択して頂き、希望に沿った活動を取り入れた。選択で活動をする事によって、何をしたいか職員に伝えることが出来るようになった。現在は、無断で外に出る事は無くなり、落ち着いて日中過ごすことが出来るようになっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・外に出るのを制限するのではなく、それを含めた好きな活動を取り入れた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-61. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤ ⑥ ⑧**

創作活動で、視覚的な情報提供が必要なBさんに活動を選んで頂く際、3つの選択肢（①ハサミで形を切る・②鉛筆で型を描く・③貼り絵制作）を用意した。それぞれの使う材料・使い方・進め方が分かるように、支援員が材料を用意し実際に取り組みを見せることで、Bさんが自分で考えて好きな活動を選ぶ事が出来た。また、「終わり」が分かるように、それぞれ数を決めて提示した。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・視覚的に分かりやすいよう提示出来た。
- ・活動の見通しが持てるように「終わり」が分かるよう提示した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-62. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑧**

利用者がレクリエーション活動を選択する場面において、3つの活動を示し（提供）、各々の活動道具や写真を使用して活動内容を説明し、利用者が選択して活動に取り組むことを行う。レクリエーション活動を選択制にした当初は、活動内容が十分には伝わっておらず、活動内容が分からない様子で、活動が始まってから別の活動を希望する利用者が見られていたが、選択活動を繰り返し体験することで、活動内容が分かり、今では多くの利用者がスムーズに活動を選択するようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・活動を繰り返し体験することで、意思が形成され、活動内容が分かるようになった。
- ・活動を選択した後も別の活動を選択できる体制を整え、活動に取り組んだ。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-63. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

生活介護を利用しているAさん、ある日、ジャンパーのほつれが気になっていたBさんに着ていた服を破かれてしまうことがあった。担当職員から保護者に連絡をいれた際、「弁償はしなくてもよいが誰がやってしまったのか？」や「25年通わせているが着ている服を破られたのは初めてだわ…。」との話を受ける。その後、事業部長から再度謝罪の連絡を入れ、弁償については持ち帰ってきた際に確認してから決めるとのことであった。

後日、管理者から保護者へ再度謝罪の連絡を入れている。話の中で今回のような事がおきない就労Bへの移行を希望したいと母親から聞かれている。別日、生活介護課長から自宅へ連絡を入れた際に、母から自宅に別の上着がたくさんあるため、弁償はしなくて構わないとの話を受ける。

保護者の就労Bに変更してもらいたい思いを受けて、Aさんの気持ちとしてはどうしたいのか聞き取りを行った。「おかあさんは就労に移ってもらいたいと思っているが、Aさんとしてはどうしたいのか」を聞いてみたところ、「生活介護でいい」と話が繰り返し聞かれ、生活介護利用のままでよいという意思を確認した。気持ちはわかったのでAさんとしても保護者（母親）にその旨話をしてみてはどうか促している。やりとりの内容については、管理者・事業部長・生活介護課長へそれぞれ報告した。

就労職員が保護者へ連絡を入れ、上記内容を説明し、了解を得た。本人が望めば、就労での体験を検討していたこと・しかし、事業部長から本人への聞き取りでは体験の返事を得ることが出来なかったこと・本日の聞き取りで本人としては「生活介護でいい」と明確に意思表示があったため、本人の意向を大切に、このまま様子を見ていくことを伝えた事で母親も了解した。以後もAさんはこれまで通り、穏やかに生活介護の活動へ参加している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・  
**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-64. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑧ ②**

対象利用者：Hさん 知的障害・自閉症 男性 19才

音楽鑑賞が好きなHさん。Hさんは言葉で伝える事が出来ず、音楽を聴きたくても大きな声でうなるだけであった。音楽を聴きたそうにしている時、普段聴いているCDを何枚か提示すると指差して選ぶことが出来た。現在は他の職員も同じ形で支援し、本人は声出しが少なくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・ 普段の行動により、うなり声が音楽を聴きたいと予想した事。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-65. 委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑥ ⑧**

施設の宿泊体験の際にサファリパークの野生動物の放し飼いエリアを皆さんで見学することになった。Aさんは動物が苦手なため、「行きません」と話されており、職員が何度か勧めたが拒否が強かった。「車で一緒に待ってますか」と尋ねると「はい」と話されていたので車で過ごして頂いた。他の方を待つ間、車で過ごす他に、お土産の買い物をしたりしながら過ごした。その後、ショーは見ることができ、表情よく参加でき、本人から「楽しかった」と話があった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ Aさんの動物が嫌いな点、「行かない」という意思を尊重できた。
- ・ 職員と一緒に待つという臨機応変な対応ができた。
- ・ お店に誘ったり待つ間の過ごし方の情報提供できた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-66. 委員会考慮ポイントカテゴリ ② ⑥**

Aさんは外出が大好きだが、団体行動が難しく他の利用者さんとはなかなか一緒に行動ができないことがある。班単位の外出で工場見学に出かけた際、必要に応じて単独行動ができるよう他の利用者さんとは別の公用車に乗って参加していただいた。当日、眠気が見られ、車内で眠られる事があり、工場見学等への参加はできなかったが、車内でのんびりしたり、ドライブしたりと本人の状態に合わせて対応することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 当日の本人の状態に合わせて対応できた。
- ・ 工場見学等への参加はできなかったが、本人の好きなお出かけには参加することができた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ② ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-67. 委員会考慮ポイントカテゴリ ④ ⑥**

4月から頻りにSさんが活動室から外に出ることがあった。その後、園内から門に出て行く行動にエスカレートした為、職員間で話し合い、行動分析シートを作成することになった。2ヶ月程経過すると、本人の行動パターンが見えてきた。家庭内の出来事や施設内での周囲の状況により頭を手で叩く等不安定な様子が見られ、「もういい」と言って外に行かれている。はじめに、取り組む活動をあらかじめ聞き取ることで始めと終わりの見通しが持てれば集中して取り組み、活動時間まで活動室にて過ごすことが出来てきた。自分の行動を止められると活動室を出てしまう傾向があり、制止の声掛けをせずにSさんのモチベーションが上がるような声掛けすることで、すぐに外にでることがなくなり、自傷行為も軽減されている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 静かな環境作り
- ・ 常時マンツーマン対応はせず、マイナスではなくプラスの声かけを行い本人のストレスを軽減。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ④ ⑤ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-68. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑥**

ストレッチャーのBさんは普段全体活動がある日以外はあまり部屋を移動しない。ある日、七夕の飾りつけのため他の車椅子の利用者さんと一緒に部屋を出て廊下で活動していた時に、他の階へ届け物があり、手伝って下さる方を利用者さんに募った。すると、Bさんが元気よく「はい」と立候補され、届ける係に選ばれた。「やったぁ」ととても喜ばれ、エレベーターで移動している時も「届け物のお手伝いが初めてで嬉しい」と話されていた。目的地に着くと「お届け物です」と大きな声で話され、戻る時には届け物でお手伝いできて嬉しいと話されていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・全員に声をかけ誰でも立候補しやすい状況と雰囲気があった。
- ・本人の希望をうけて実現することができた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-69. **委員会考慮ポイントカテゴリ ① ④ ⑥**

お話することが難しい利用者さんに、交換ノートを準備し、交換日記を行う。ノートに、ご自身の気持ちや要望を毎日書いてきてくれるようになった。事業所内でひな祭りの行事が行われた際、飲み物を「コーヒー・甘酒・ミルクティー・カルピス」から好きなものを利用者さんに毎年選んでいただいていたが、その場で決められなかったため、コーヒーを提供していた。交換ノートを準備した年、ひな祭りの前々日に、飲み物の種類を書き、「ひな祭りで飲みたいものを教えて下さい。」と記載する。翌日、「ミルクティーがいいです、宜しくお願いします。」と返事が返ってきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の「字を書ける」強みを活かし、支援した。

**事業所判断ポイントカテゴリ ①～⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-70. **委員会考慮ポイントカテゴリ ① ④ ⑤ ⑥**

Aさんは文字を書くスキルがあり、自分で一日のスケジュールを作成し、スケジュールに沿って活動している。初めは職員が本人の意向を聞き、アドバイスをしていたが、現在は自ら記載し、実行できるようになった。本人の中で、一日の見通しやメリハリが付き、自分で決めたことに対し責任をもって行動する意識が見についている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・選択肢の中に、『選ぶ活動』を入れ、気分の変化に対応。

**事業所判断ポイントカテゴリ ①～⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

A-71. **委員会考慮ポイントカテゴリ ④ ⑥**

いつもパソコンをしているAさん。袋作業やクリーニング作業など声掛けするもののあまり乗り気ではない様子が見られる。ある時、本人と会話をしている時に手の握力の話題になり、職員が「牛乳パックのラミネートはどのくらい剥がせますか」と声掛けを行うと自分から「ラミネートを剥がしてみる」と言って4～5枚取り組むことが出来た。

ラミネート剥がし(牛乳パックのラミネート部分を剥がすリサイクル作業)。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人のやる気を引き出すことが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリ ④ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 **A** **就労B型・就労移行等（就労系）**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**就 労 系**

**A-72. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ③ ⑥**

Aさんから「休憩室の清掃をやってみたい」という希望が出ていたが、作業が忙しく個別対応できる現場職員がいなかった。普段から気持ちの変化が多い方で、希望を現実にすることが難しい状態であったが、職員間で話し合い、事務職員と連携し清掃を行ってみることにした。テーブルを拭く、机を上げる、物をよける等、細かく方法を伝えたが「わかりました」と笑顔で清掃に取り組むことができた。休憩室清掃はAさんの作業の一つとなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人のやってみたいという気持ちを大事にした。
- ・本人の「できる」という喜びにつながった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**就 労 系**

**A-73. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

Bさんは「カフェの作業にチャレンジしたい」が不安もあるということだった。カフェ作業のマニュアルや備品に番号をつけるなど本人にわかりやすい準備をし取り組んでもらった。今では1人で準備ができるようになり、自らカフェにふさわしい身だしなみを心掛けるようになっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の不安を取り除くために、事前準備をし、受け入れる体制を作った。
- ・希望する作業ができるようになったことで自信が付き、自主性が見られるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**就 労 系**

**A-74. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

BさんとCさんはお付き合いをしており、Cさんから施設外の行事に参加したいと話があったがBさんはCさんに代休で施設を休んで欲しくない為BさんとCさんは話し合いをしCさんは欠席する事になった。以前、BさんとCさんは話し合いが出来ず職員が介入しBさんが混乱してしまう事があったが現在はBさんが興奮する事は少なくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・二人で話し合う事でお互いが納得する答えを導くことが出来た。
- ・事前に職員からCさんに話し合いをするように働きかけ二人で話し合う機会を設けた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧**



A-75. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④ ⑤ ⑦ ⑧**

【 Aさん 男性 19歳 知的障害 lgA腎症 】

Aさんは支援学校高等部を卒業後、平成30年から通所している。黙々と内職作業に取り組むが、周囲には協力的でなく、融通が効かない部分があった。休憩時間には手帳に作業内容を几帳面に記録し、予定や順序にとられる傾向もあった。そのようなところを、作業態度は真面目で正確、信頼出来ると、本人を評価する言葉をかけていたが、本人は褒められたり期待をかけられると嫌な顔をした。まだ学生感覚が残っていて、事業所カレンダー通りの通所には抵抗をみせ、販売作業や内職の納品に行く提案をするも拒み続け「僕は無理をしないんです。何で言うんですか。言わないでください。」と、普段の物静かさとは違う強い口調で職員に訴えて来た。学生時代に体調の問題で活動制限があったことが本人の行動を阻み、強いこだわりを示していた。眉間にしわを寄せて顔を歪ませ、職員をにらみつけることもあった。

このようにAさんから激しい感情の表出があったことから、Aさんなりに今まで感情を出さずに頑張っていたことを職員間でも認識するようにした。また、この言葉での訴えはAさんの意思であり、強い口調は職員に対して心を開く過程と捉え、無理強いはせず、今まで通りの作業を提示するよう周知した。同時に本人には、今のAさんは学生ではなく社会人として仕事をしているのだという事。学校には学校の決まりがあったように、仕事をする事業所や会社にも決まりがあることを時間をかけて伝え続けた。作業の変更や荷物の搬入も、仕事としてみんなが協力してやるべき事なのだ、その都度根気よく伝えた。それを踏まえて「やって頂けますか？」「納品に行っていましたか？」などと、無理にではなく本人に選択していただいた。

最初はなかなか納得出来ないうえに、器用なAさんは多数の作業を柔軟にこなして自信をつけ、次第に職員の話にも理解を示すようになった。

今は、作業準備から最終確認、伝票チェックをして職員にペンやメモ用紙を差し出すまでの気配りが出来るようになっている。製品の積み込み、納品も積極的に行っている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・説得するのではなく、繰り返し時間をかけて本人が納得出来るよう説明をした。
- ・更なる意思形成を促すために「待つ」姿勢で支援を行った。
- ・過度な期待をかける言葉かけを辞め、プレッシャーをかけないようにした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④ ⑤ ⑦ ⑧**A-76. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥ ⑦ ⑧**

Aさんは特定の作業に苦手意識を持ち上手くいかないと粗暴な態度をとる事がありご本人もどうしたら良いか悩んでいた為話し合いを行った。① 苦手な作業を行う際は遠慮せず職員に声掛け一緒に行く。② 3回続けてうまくいかなければ一度別の作業に入り気分転換する。とした所、翌日から表情も良くなり安心して作業に取り組む事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちをじっくり聞く時間を設け、本人と相談しながら今後について話あえた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-77. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑦**

事業所を利用し2年目のYさんですが、当初は自分のやりたい作業（取り組んだ事のある作業）のみに取り組んでいたが、時間をかけ少しずつ色々な作業に参加をして貰うことで現在は、色々な作業に取り組む事が出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・時間をかけ色々な作業を経験して貰った事で作業の幅が広がった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④ ⑤ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-78. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑦**

Eさん 知的障がい 男性 38才

施設外就労へ行く意欲はあるものの、これまで作業時間が長く続かなかった。そのため、事前に見学、体験を取り入れ、支援員と話し合いを行ない、ご本人の意思確認を繰り返し行うことで、スムーズに作業に参加することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・事前に見学を取り入れ、ご本人の意向を確認した。
- ・ご本人の意思確認を繰り返し行った。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-79. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥**

Oさん 知的障がい 男性 32才

言葉が不明瞭であり意思を上手く伝える事ができず、苦手な利用者さんがいると作業室に入ることができなかった。様子を見ていた職員から、別室での作業はどうかとの提案があり、ご本人の意思を確認後別室での作業を行なう。その事で気持ちの安定が図られ、生産能力があがった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・日頃の表情や行動を確認することで、本人の変化の確認ができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-80. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

利用者Oさんは医師より水中毒のおそれがあると言われている方で、職員が水分量を制限しないと何杯でも飲んでしまう為、おかわりが出来るように3個のコップにお茶を半分の量での提供を始めた所それ以上の要求がなく美味しく摂取して頂いている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員間の連携で毎回同じ量の声掛けを行いました。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-81. **委員会考慮ポイントカテゴリー ①**

利用者Kさん帰りの送迎車（セレナ）にこだわりを持ちセレナが使用出来ないことが分かるとう不安定になってしまう。使用できない理由を話しても落ち着きがおさまらなかった為、車好きなこともあり車の雑誌を提供すると落ち着きを取り戻した。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・絵カードの使用
- ・ホワイトボードを使用してのその日の送迎車の説明。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑤ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-82. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑤ ②**

体力の低下から思うように体が動かず、怪我をしやすいAさん。ストレスが溜まり作業意欲が低下、決められた作業への取り組みが困難になってきた。家族から決められた作業への取り組みを頑張るよう言われ気持ちが沈みがちとなる。本人の意向を考慮して、出来る作業、興味ある作業への取り組みを促す。作業意欲と集中力が戻り、欠勤も減った。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・興味ある作業への取り組みを促せた為、作業意欲と集中力の向上が見られ休みも減った。
- ・所属する作業班の仕事にとらわれず、本人の意向を考慮した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-83. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

出勤時より不安定さが見られたBさん。本人の気持ちや体調の変化を聞き取る。また、今日の活動内容と希望作業の聞き取りを行う。絵を描くことから始まり、その後、タオル折り作業にスムーズに取り組みた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちの聞き取りを行い、気持ちにより沿った活動支援が出来た。
- ・本人のペースに合わせた活動を支援出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-84. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④**

偏頭痛を持っている利用者さんから朝の打合せ時に「今日ちょっと頭が痛いです。」と報告があった。その時「無理せず服薬し、酷い時は休憩を取って下さい」と声掛けする。その後様子を見ながら過ごす表情が暗く、反応も鈍かった。頭痛以外にも何か理由があるのでは？と考え別室に予備話を聞くと、通所途中で本人を悩ますトラブルがあったと判明する。→話を聞いた後は体調や表情も改善する。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ご本人の様子を観察する事により頭痛を助長している何かがあるのではと配慮出来た。
- ・自分一人で悩まず職員に話す雰囲気作りが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-85. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑦ ⑧**

利用者 A さんは入所当時食事の好き嫌が多く、就学時給食があまり食べられない状態だった。若い利用者でもある為「食べれない物」でも食べれる可能性があると感じ、代替品を出さず「食べれない時は無理せず残していいですよ」と声掛け。しばらく様子を見る事とする。ご本人が希望する食事を提供できていないのではないかと不安もあったが、何度かまわりの利用者と昼食を共にするうちに、今では嫌いだった物でもいくらか食べて下さる様になっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・目の前から嫌いな物を排除するのではなく選択肢を持っていただきながら提供した事
- ・利用者の方が若いという事も有り、口にする機会が少なかった為何度か目の前にして口に出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-86. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑥**

Aさん…58歳女性。就労B利用者。トイレ等身の周りの事は自立している。

自分から職員へ、トイレに行く報告をするのが難しいAさん。作業中にスツといなくなり、姿が見えなくなってしまうことが多く、把握が困難であった。その為、トイレのマークの絵カードを準備し、本人に「トイレへ行く時に職員にこのカードを見せてください」と伝え、カードを本人に渡した。すると、翌日から、本人から職員へトイレの絵カードを見せにくることができ、また、今まで言わなかった「トイレに行ってきます」との言葉も聞かれるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・絵カードを使用したことで、本人から職員へ「トイレに行く」という気持ちを言葉でも伝えることが出来るようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-87. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ①**

食品製造部門で作業しているAさん。ある日の配達途中の車の中で「今から行くお客さんとこの近くに、まんじゅう屋があったよね？今度の余暇活動の時に行きたいから店の名前教えてくれる？」と言っていた。Aさんとは以前からそのお客様の所へは何度か行っていたので、そのまんじゅう屋さんが、ずっと気になっていたようです。私は口頭でお店の名前を伝えましたが、Aさんの余暇活動の日が、まだ少し先だったので、施設へ戻り、お店名を紙に書いて渡した。Aさんは後日〇〇屋に行ってまんじゅう買ってきたよ。」と嬉しそうに話してくれた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-88. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑧**

日帰り旅行の場所決定の際、利用者みなさんの意見を事前に聞き取り、同じような見学地をまとめて3つの場所に分け、写真を取り入れた旅行日程、見学地や名物の食べ物等を提示し、行きたいところに投票していただいた。投票が一番多かったところに行き先が決定。行きたかった場所に決まった方は、大喜び、選ばれなかった場所の方も、「みんなで話し合ったから納得」「来年もまたみんなで決めたい」と前向きな意見がでて、有意義な計画を立てることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・選択肢を設けて、写真でわかりやすく提示することができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-89. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑦ ⑥**

在宅生活が長く内向的なAさん45歳、入所当初は、不安もあって週に3回、出勤時間も9:00と遅らせての登園でした。毎日の丁寧な作業の中で生産量も上がってきました。職員も毎日の会話を欠かさず行い、具体例を挙げコミュニケーションを取りながら信頼関係を築きました。Aさんから、「来月から毎日(週5回)来ます」との話し、毎日の登園が可能になりました。登園時間も、職員と話し合い8:30にすることができました。今では休まず登園し、「就職したい」という希望により、職場実習の計画を立てています。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人との会話を多くし、最後までしっかり話を聞くことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-90. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

新しい仕事にチャレンジしたいという本人意思で、不良を出さずにやり易い方法で製品を造ることを一緒に考えながら作業に取り組んだ。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人と支援員と一緒に考え、作業手順等に取組、不良品を出さない手順等を習得した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-91. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ③**

長時間作業を続けられない本人さん（「飽きてしまう」「もうやらない」）に、それまで取り組んでない作業種の提案の一つに興味を示し「やる」との返答ある。興味を持った作業を継続的に取組を行っている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人さんが興味を示す作業種の提案

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-92. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑦**

一人暮らしの本人さんの昼食後の服薬支援で、預り服薬支援から本人さんの申出により、自己管理服薬実施をおこなったが、幾たびか服薬用の薬を忘れることがある。本人さんと話し合いにより預り服薬支援に戻ることになる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人さんの意思を尊重した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-93. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ⑦**

環境や人に慣れるまで自分の思いを言葉にして発することが苦手なEさん。家庭では沢山お話をしているとのことであつが、4月の入所以降、職員の問い掛けにうなずいたり、首を横に振ったりの応答が続いていた。あることをきっかけにEさんが職員に手紙で気持ちや思いを伝えてくれるようになり、「お話をしたいです」と伝えてくれるようになった。手紙のやり取りや普段からのコミュニケーションを継続していくうちに「おはようございます」、「お疲れさまでした」と言葉で伝えてくれるようになり、現在は少しづつ日常的な会話や相談事も話してくれるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Eさんが話しやすい環境に配慮し、関係性を気付くことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-94. **委員会考慮ポイントカテゴリ ⑤ ⑦**

作業時にHさんに「材料をとってきてください」と声掛けすると、材料をケースいっぱいを持ってきてしまう。「自分でできる量だけ少しでいいんですよ」と声掛けしても同様であった。個数を具体的にお伝えしてはどうかと思い「20個持ってきてください」と声掛けしました、一緒に20個数えてケースに入れてたところ、その後は、自分で20個数えて材料を持ってくることができるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・曖昧な表現ではなく具体的（20個）にお伝えし、また、一緒に行動した。
- ・Hさんが行動するのを待った。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑤ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-95. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ④ ⑥**

Bさんは片麻痺で、左手がうまく使えない為、左手は使おうとしなかった。本人と話すと左手も使いたいとの意思が確認できたので、職員で左手が意識できるような動きを取り入れた。洗濯バサミを右手から左手に持ち替えて挟める運動をする事にした。本人も焦らずに取り組める環境を設定する事で、左手を意識して集中した取り組みが出来た。少しずつだが左手を使うようになり食事でも手を添えることが出来るようになった。作業でも声掛けすると左手を出すことが以前より多くなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の意思を確認し実現できた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

A-96. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑤ ④**

Aさんは、バスで出勤し帰りは施設送迎を利用していた。「起きれない」ということで休むこともあり、出勤しても一日を通しての作業は困難で寝てしまい、突然情緒が落ち着かなくなると、帰りたくなってしまい鞆を持って外に出て行ってしまいうこともあった。その都度、帰りたときは職員に声を掛けるように伝えた。午前中で帰りた時は、昼食を食べてから帰ることを提案、本人の意思を確認し難しい時はそのまま自宅に送った。本人も帰りた時は送ってもらえることが理解できるようになり、「帰りた」と「帰ります」と申し出ることがあり、何も言わず外に出っていくことは少なくなった。今では仕事することが難しい時でも昼食時間まで待つこともでき食事を摂ってから退勤する。欠勤も月4～5日と減。（1年前は出勤日が4～5日であった）

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・仕事を午前中にしたことで本人の精神安定がはかれた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ⑤**

【本人の意思決定支援が**出来た実例・成功実例**】（過去1年間で）

就 労 系

A-97. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ③** Aさん40代（知的）

Aさんから電車に乗って買い物に出かけたいとの要望があり、余暇活動支援で出かけることとなった。Aさんの希望日は2ヵ月後のある土曜日だった。しかし、その日はB支援者の都合が悪く、一緒に外出することが出来ないことをAさんに口頭で伝えた。しかし、Aさんはどうしても自分の希望した日に出かけたい様子だった。そこで、B支援者は絵と文字が書かれた2枚の絵カードを準備した。①のカードには、「〇月〇日（土曜日）は私のお家の仕事があるので外出できません。」②のカードには、「☆日（土曜日）または△日（土曜日）と一緒に外出できます。」と書いたカードをAさんに提示した。すると、②のカードの中から、△日のカードを選ばれ（手にとり）「この日にしたいです。」と話された。（予定の変更ができた。）

外出は予定通り行うことができ、△日にAさんは一日表情よく過ごすことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・支援者の都合がAさんの希望に合わなかったため、AさんにB支援員の事情を伝えるために絵カードと文字で説明できたこと。

・Aさんが意思決定できるよう、代替の候補日（選択肢）を複数あげてAさんが選べるサポートを行えたこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 **A** **児童入所・放デイ等（児童系）**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**児 童 系**

**A-98. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

洗濯物を自分でたたみたいと思っていたKくん。最初は折り紙の端と端を合わせる取り組みから徐々に練習していった。チュールリップやおうち、ハート等楽しみながら折り紙を折り少しずつ上達してきたため、次のステップとしてTシャツ型の折り目がついた新聞紙でたたむ練習を行った。その後、タオルたたみや手順書を見ながら実際に衣類をたたむ練習を毎日行い、今では自分の衣類をすべてたたむことが出来る。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の「やってみよう」という思いにいち早く気づき支援に繋いだ
- ・楽しめる活動を取り入れつつ、視覚的な掲示物を使用した

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**児 童 系**

**A-99. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

誕生者外出を控えたAさんに誕生日プレゼントは何がほしいかを聞いた。Aさんは「ワンピースがほしい」と答えるが、社会経験が少ない為に「どの店に行けばいいか」が分からない様子。こちらから店名を3つ提示するとAさんは店を1つ選ぶことが出来ている。外出当日は本人の行きたい場所に行き買いたいものを買うことができ、とても満足した誕生日を過ごすことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・社会経験を増やすため、行ったことのない店を選択肢に挙げ、本人の経験値を上げることが出来た

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**児 童 系**

**A-100. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

普段は虫が好きなAさんが、虫の図鑑に興味を示さず、「違う」と言い怒っていた。スタッフが図鑑を開いて見せようとした時、Aさんがその時着ていたTシャツにプリントされた恐竜を指さしてスタッフに訴えた。スタッフが恐竜の図鑑を持ってきたところ、喜んで読むことができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・発話があるが、まだ語彙が少ない方との関わりの中で、本人の意思決定表出を見逃さず受け取ることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-101. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑤ ⑥**

明るく活発な児童だが、余暇の幅が狭くアイドル番組、雑誌、CD聴き等が主だった。ケース担当と面談をした時に「配膳の手伝いをやってみたい」と話していた。ちょうど配膳当番の児童が体調不良だったこともあり、配膳当番に入ってもらった。余暇だった時間を30分程手伝いをするようになったが、うまく配膳を覚え前向きに取り組んでいる。体調不良の児童が治ってからも本人の意思を確認し、継続している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員との個別面談から「やってみたい」という、意欲的な姿勢を引き出した。
- ・固定しがちだった余暇時間を充実させた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-102. **委員会考慮ポイントカテゴリ ② ③ ⑧**

「〇〇のおもちゃが欲しい」というAさんの要求に対して「〇〇のおもちゃを買うにはどのくらいのお金が必要なのか調べてみよう」と声掛けしインターネットを使い値段を調べる。「△△円位するから貯金を頑張ろう」と声掛けし本人納得することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・要求内容を理解するまで根気強く対応した。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-103. **委員会考慮ポイントカテゴリ ① ⑥**

新しく入所してきたAさん。一日の流れが分からず周りを見ていた為、口頭で伝える。次に日には忘れていた為Aさんのスケジュール表を制作し居室に掲示する。何時に何をするかは絵と言葉、時計の絵カードを用いて分かりやすく見やすく表にした。Aさんは今、何をすべきか分かったようでスムーズに行動できていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・好きなキャラクターを入れ興味を持って見る事ができた。
- ・一日の流れを絵カードや言葉を用いて分かりやすく伝えることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリ**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-104. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

平日は登校渋りがあり朝起きられない等の行動の滞りがある児童。ケース担当と話をして、夏休み中は自分で起きるという目標を立てた。朝起きられた時は、「頑張っているね」等と励まし、夏休みのほとんどの期間自分で起きることが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人と職員が話し合うことで自分で起きるという意思を確認し、達成できるよう職員としても励ました。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-105. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ②**

服薬拒否が激しいAさん、本人の大好きで飲むことを希望する事が多いコーヒー（カフェインレス）と一緒に薬を飲むことや、匂いが楽しめるようコーヒーの空き缶に水を入れた物で服用する事で、本人が満足する事ができ、できるだけ薬に対する嫌悪感をなくす事ができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・好きなコーヒーを苦手な服薬に取り入れる事で、嫌な思いをする時間を減らす事ができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ②**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-106. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑥**

映画鑑賞、買い物といった社会体験の前に、メニュー表や約束事リストを確認していることで公共の場においてルールを守ったり、注文できたりしている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・どんなメニューがあるのか、どんな行動をするべきなのか見通しが立つことで安心して活動をする事ができる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-107. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

プール遊びについて、保護者からプール遊び可能な連絡を頂き、水着の準備もできていたが、Aさん本人はプール遊びを拒み、室内遊びを選んだ。Aさんは、室内で楽しそうに遊んでいた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・保護者の意向とは違ったが、本人の意思を尊重できた。その結果、本人は楽しい時間を過ごすことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-108. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑧**

夏休みのレクリエーションの行き先を決める際に、行きたい場所、行いたい事、食べたい物を写真やイラストなどを用いながら細やかに聞く事で、イメージをふくらませる事ができ、具体的な内容も複数の利用者が満足できる内容になった。また、事前に行く場所や時間を書面で掲示し知らせる事で、それぞれに分からない事や不安な事を職員に聞く事ができ解消を図る事ができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・それぞれに行きたい場所、行いたい事、食べたい物を具体的に聞く事が満足につながった。
- ・事前に日程や内容を知らず事で不安感の解消が図れた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-109. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑦ ⑤ ⑧**

衣類購入の際、Bさんの望むデザインが体格と合わなかった。Bさんに自分に合うサイズを実際にタグを見せたり、試着をする事で理解してもらう事ができた。その後、納得がいく服が見つかるまで一緒に探す事で本人が満足いく買い物をする事ができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・サイズを具体的に知らせる、試着をする事で自分に合ったサイズを知ることができた。
- ・時間で急かすのではなく、納得出来るまで一緒に衣類を探す事が満足につながった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-110. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④**

表出の少ない支援学校高等部 女児。言語訓練時にPECSの絵カードを使用しながら感情・気持ちについて繰り返し確認していると、実際の困った場面の時にPECSを使いつつ、ジェスチャーと音声にて気持ちを伝えることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・繰り返し行うこと、ご本人の興味ある課題から導入したこと。
- ・動きの言葉を擬音で伝えることと、ジェスチャーの共有化を図ったこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-111. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④**

集団指導での中学生男児。活動の振り返りをしている際、感想をシートに記入する課題を行っていた。感じたことを整理し、ことばで表現することに難しさがあるが、絵を描くことが好き(余暇時間に絵を描くことを好んで行う)なご本人に対し、絵で表現して良いことを伝えると、活動場面でご本人の笑顔が多く見られた情景を描いていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ご本人の得意とする表現方法で、意思を表出することができた。(表現方法・媒体の工夫)

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-112. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑧**

園外での活動場所を選択する時、文字や言葉だけの提示では行き先を選択出来なかった A さん。写真を添えて提示したことでイメージしやすくなり、スムーズに選択できた。また、活動中も、写真を加えながら説明することで食事のメニューや購入したい物など分かりやすく提示し、本人のやりたいことを叶えることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・視覚的に情報を伝えることで行き先を分かりやすくした。
- ・本人のやりたいことを叶えることが出来たため、活動への満足感が得られた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-113. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ②**

何をして過ごせばいいか分からない児童にお手伝い(洗濯たたみ)を進める。きれいに置めていた事で褒められると嬉しそうにしていた。もっと他のお手伝いをしたいという意欲が芽生え、様々な活動に積極性が生まれた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・様々な経験を積むことで、積極的になる姿勢を引き出すことができた。
- ・本人の長所を認めることで、意思表示の機会が増やせた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-114. **委員会考慮ポイントカテゴリ ① ⑦ ④**

Aさんが特定の指導員のみには気持ちを訴える事が出来なかったり、本人自身が上手く言葉で表現出来ない事があった。学校での出来事、特定の指導員が不在、したい事が出来ない等の突発的な事も重なり、不安定な状態になってしまう事があった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・事前に下校時刻、特定の指導員の出欠席、したい事等をカードや文字にし、不安を取り除いた。また、振り返りとして帰る前に「学校、自宅、事業所」の「○、△、×」「その理由」「楽しかった、悲しかった…」「次回したい事」等の記入やカードを提供し、原因究明と次回への不安軽減を行えた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-115. **委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

Bさんはなかなか言葉で上手く表現出来なかったり、人前では自分の落ち度を認める事が出来なかったり、頑固になってしまった。後に本人から「実はあの時…」等の発言もあつたりした事や、環境を変え、個別での対応をすると自己分析が出来たりする事ができるので本人専用の振り返りファイルを作成し、カードの提示や本人の気持ち等を確認した。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉だけでないツールで本人が冷静になれていた。
- ・「実体験、経験、実践後」を繰り返し行った。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ⑤ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-116. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③**

Aくんは紙ちぎりが好きで、絵本も破いてしまうことがある。  
絵カード、口頭での注意が入らないため、Aくんが持っている絵本を職員が「×」を示しながら取り上げる。  
絵本と交換に新聞紙を渡すと、機嫌良く紙ちぎりを始め、Aくんは好きなことをして過ごすことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・絵本の代わりにちぎることが出来る新聞紙を渡した。
- ・怒る様子が見られず新聞紙に移行出来て、好きなことをして過ごすことが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-117. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑧**

パズルの課題が好きなBさん。

自閉症でこだわりが強く、自分の好きなキャラクターのパズルしか取り組まない。そのパズルを数枚提示し、その中から本児がやりたいパズルを選んでもらう。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・パズルを数枚提示したことで選択しやすくした。
- ・ことばの理解はあるが、発語が苦手なので、実際に見て指さしで選んでもらう。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-118. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦**

＜個別指導の場面で＞ Aさん(女兒・学童)

登園について、下校後図書館へ行って読書をしたいから療育を休みたいと本人が言っていると母親から連絡が入る。本人に電話口に出てもらい、職員も直接本人の希望を聞く。本人も母親と同じように「図書館に行きたいし…本読みたいからなあ…」との事で、職員が登園する・しないは自分で決めて良い事を伝える。暫く迷うが、本人の口から「今日は休みます」との返答がある。次回は登園出来るように約束して欲しいと伝えると「来週はちゃんと行きます」との事で、次回の登園についてもきちんと取決め出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人に決断を委ね、返答を待った。
- ・本人と職員両方が納得した上で約束をした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-119. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

＜集団指導の場面で＞ Bさん(男児・未就学)

スケジュールに沿って過ごせるように練習中で、まだことばによる表出が難しく絵や写真カードを活動の理解や要求の為に使用している。ある日の活動で、急に部屋から出て行こうとした為「遊び」を示す写真カードをスタッフが提示すると、それを見て喜んでプレイルームへ向かう。その後、暫くすべり台などで身体を動かすと、またエリアから出て行こうとした為、今度は元いた部屋が示してある写真カードを見せると、それもはっきり見て部屋に戻る。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の様子を観察した結果、本人の思う行動に導けた。
- ・意思決定(確認)のツールとして、写真カードを使用した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ①**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-120. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑧**

小5男児（発語あるが、不明瞭）

メロディブック、テレビ、DVDのタイトル等の写真を絵カードにし、余暇活動の要求カードを作成して壁に設置したことで、余暇時自分で絵カードをとって職員に渡し、希望を伝えることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本児が好む遊びを写真を使ってわかりやすく絵カードにした。
- ・本児が利用しやすい場所（居室の壁）に要求カードを設置した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-121. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑧ ⑥**

小1男児（発語は1～2文字程度。「あ」「はい」等）

1日の日課を絵カードにして廊下に提示して、今後の予定の見通しがつくよう伝えている。

本児が絵カードを指さして要求すれば、日課を前後して対応できるようにした。

（例：卯木は遊びの時間であっても、本児が「布団を敷く」の絵カードを指させれば就床準備をして寝る等）

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の意思が伝えられるようにし、その決定を日課に支障が出ない程度で尊重している。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

A-122. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑦ ⑥ ②**

ダンス発表の練習時、本番に使用する装飾品の着用を伝えると拒否があった。その後も練習時に周りのお子さんが着用する姿を何度か見る機会を設けた。本番前に周りの雰囲気や様子を理解した様子が見られたため、着用したい装飾品を本人に選んでもらい、着用することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が身に着けたいと思うまで無理強いせず待つことができた。
- ・練習時から何度か他児が着用する様子を見ることで、着用することの不安な思いの軽減に努めた。
- ・着用したいものを自ら選んでもらった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑦**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-123. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ② ⑦ ⑧**

支援学校2年生ダウン症男児。通所を開始した際、不安が強く泣いてしまい帰りたい気持ちから玄関先にいる事が多かった。意思の表出や要求も難しい状況であり色々な選択肢を与えながら対応を模索していた。玄関先にいる事から、「外へ出てみる?」という選択肢を提供してみると、動きが変わり表情良く散歩をすることが出来た。今では泣き出しもなく、楽しく活動に入る事が出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ことばでの表出にこだわらず、選択肢を色々挙げてみた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑤ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

A-124. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

母子分離が難しく登園ごとになってしまう男児について、信頼関係を築くようにし抱っこでの参加を行って来た。繰り返していく中で、安心感からおもちゃや課題にも目を向ける事ができるようになり、抱っこではなく自分で動き活動する事ができるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・無理強いせず本児のペースで活動出来るようじっくり対応した。
- ・個別の関係を作るスタッフを限定し慣れる環境を作った。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑥ ⑦**

次の事例（A-125～A-129）は、事業所判断では失敗事例とされた事例ですが、委員会の話し合いの中で成功事例にさせていただいた事例です。

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

A-125. **委員会考慮ポイントカテゴリー 成功事例 ⑥ ⑦**

利用者Cさんと生活費についての話し合いを行った。Cさんからは、お給料については、全部お小遣いで使用したいとのこと。バスを利用しているため、交通費などを考慮して職員と仕訳を行う。しかし、交通費を遊びのお金を使ってしまったとのこと。もう一度話し合いを行うが、イライラして無言となる。提案として、小遣いの範囲でできることは何かという視点で話をするとBさんからやりたいことや買い物の話がでてくる。できるだけやりたいことに近づけるにはどうすれば良いのかを一緒に検討し直している。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・収入の中で出来るという方法の切り口で提案できなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

A-126. **委員会考慮ポイントカテゴリー 成功事例 ③ ②**

Aさんは夜尿で布団を汚してしまったため職員が布団を干すと、他利用者の居室に入り布団を自分の居室に運ぼうとしたため職員が止めました。Aさんは何度も布団に拘り、他利用者の布団を持ち出そうとしその都度止めました。行動を止めたことにより、自身の頭を叩くなどの行動が見られたため新しい布団を渡すと自室に運びきれいに布団を敷いていました。意思を汲み取り新しい布団を渡せばよかったと後悔しました。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・他利用者の居室から布団を持ち出す行為を止めることに執着してしまい、「新しい布団を敷きたい」という本人の意思を確認することができなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -②**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

日中活動系

A-127. **委員会考慮ポイントカテゴリー 成功事例 ②**

お弁当を食べ始めるが、途中で手が止まっているAさんに他の場面でも行動停止があるため 食べるように促すが、さらに停止、野菜だけが残っていることに気づき「もうおしまい？」と聞くと大きくうなずいている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・行動停止の原因が明確ではないことが多いため、「何かあるんだろうな」と考えていたものの、「野菜は嫌いなのでもう終わりです」という明確な理由があったことに気付かなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

A-128. **委員会考慮ポイントカテゴリー 成功実例 ⑤ ⑥**

利用者がレクリエーション活動を選択する場面において、3つの活動を示し（提供）、各々の活動道具や写真を使用して活動内容を説明し、利用者が選択して活動に取り組むことを行う。実際に選択してもらうと、活動内容が十分には伝わっておらず、活動内容が分からない様子で、活動が始まってから別の活動を希望する利用者が見られた。

言葉での説明に加え、活動道具や写真などを使用して説明をしたが、実際に活動へ取り組み、体験することで活動内容が分かった様子であった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・活動内容を説明する際、視覚的に情報を提供するということが、画一的な支援方法になっており、利用者各々に合わせた支援方法にはなっていなかった。
- ・始めから選択して取り組むのではなく、各々の活動を体験してから選択して取り組んだ方が、分かりやすい利用者が多かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑤ -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

A-129. **委員会考慮ポイントカテゴリー 成功実例 ③ ④ ⑥**

Cさんは普段から自分の思いを言葉で発する事が出来ない。その為、他の利用者はCさんに声掛けや手助けをそれぞれ確認せずやっていた。本人の表情は日々、笑顔の時や険しい表情の時と違っていた。ある日、皆と作業をすることを拒んでしまい、その後、出勤拒否となり欠勤が続いた。出勤したくない理由はわからないままではあったが、職員とCさんと家族と話し合い、別室で個別対応することに同意がいただけ、出勤意欲を持てるようCさんが楽しいと思えるような作業を提案。出勤できるようになってから作業へと切り替えることに成功した。本人に『静かな環境で作業をしたいのか。』を問うと頷くため、作業は別室で取り組むことを現在も継続中。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の立場になり何を思っているのか考え本人の家族と情報を共有するべきだった。
- ・本人と他者の関わり方などの変化にもっと早く気づき支援方法を考えるべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -②**

## 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例につきましては、成功実例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各実例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功実例同様、要素が強い順列でお願いします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.4」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表示支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-1. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -⑥ ⑨**

BさんはCDに強い拘りがあり、CD-Rへ音楽を入れて欲しいとの要望が多くあった。しかし、直ぐに対応出来ない場合にはきちんと行える時間を設定し必ず行う事を伝え、CD-Rに書き込みが出来ない職員であった場合には対応出来る職員が出勤する日を伝えるが、待つ事が出来ずに不穏状況に繋がってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・状況を説明し、理解して待つ事が出来る場合もあり、不穏な行動を予測する事が困難であった。
- ・職員によって違う対応を行っていた。
- ・口頭のみではなく、理解してもらえようツール（カレンダー、手帳へ対応出来る日時を書くなど）の対応が必要であった。
- ・職員側の理由とはいえ早急に対応出来ない状況があり、いつ対応してもらえるのか不確定な状態に不安を感じ、不穏状態となってしまうケースが一要因と考えられる。そのため、一定の決まり事（予め曜日を設定、1枚単位ではなくまとめて書き込むなど）を本人と話し合いの中で決めて行うべきであった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -④ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-2. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -④**

Bさんがテレビに映る動物を観て、笑顔で「動物。動物。」と話していたため、動物園への外出を企画し実施した。しかし、実際に動物園に行ってから機嫌を損ねてしまい、動物にも興味を示さず、終始帰りがる様子が見られた。また、普段は食事を残すようなこともないが、その時は食事に対しても拒否が見られ食べなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Bさんの様子を見て、『動物園に行きたいと思っている。』と推測したが、本人の要望とは違っていた。
- ・話す言葉と実際の気持ちに違いがあることを職員が理解できていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-3. **委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑥ -⑦ -⑧ ⑨**

集団生活の食事の場面で野菜サラダがメニューに出てきたときに支援者の都合で各利用者さんの好みのドレッシングを聞かずに一方的にかけてしまっていた

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・選んでもらうことで時間がかかってしまう。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -④ -⑥ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-4. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑥ ⑨**

紐で遊ぶことが好きなCさん。手触りや色に好みがあるようで、いらなくなるとトイレに流してしまうことがあった。

紐を流す事によりトイレがつまってしまうことがあり、本人に流してはいけないことを口頭で伝えていたが、同様の行為を何度か繰り返していた。

本人に理解を求めるのが困難であったため、原因を排除してしまえばよいという発想で、本人に紐を渡さない対応をした。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・『紐で遊びたい』という本人の意思を無視した対応をしてしまった。
- ・口頭で伝えるのみで、本人が理解しやすい伝え方、意思表示できる支援をしていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-5. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -②**

グループホームを利用する A さん（男性、知的障害、精神障害）。朝食を摂取されず、食事を見つめている。食事内容が合わないのか今は食べたくないのかなど話をするが反応が見られず、摂取されない原因を判断することが困難だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・言葉以外での意思表出を理解することができず、意思を読み取ることができなかった。
- ・食べないことも本人の意思に基づくということに配慮した支援ができていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-6. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ ⑨**

Fさんはグループホームの入居を希望されていた。実際に見学も行い、本人も気に入り、部屋にも空きがあったので体験利用を希望されていた。しかし、そのグループホームを利用されている入居者の方に病気があり、その方の病状が落ち着くまで体験利用は待つて欲しいとの要望がグループホームよりあった。その為、連絡が来ることを待っていたが連絡は無く、こちらから連絡も行ったが半年以上経過してから明確な理由も告げられず、体験利用は一方的に断られてしまった。

また、ご家族も当初は本人のグループホームの利用を賛成されていたが、しばらくすると「場所が遠い」等の理由で反対されるようになり、結局本人のグループホームへの入居の件は無くなってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人のグループホームを利用したいという気持ちよりも、グループホーム側やご家族の側の都合が優先されてしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

**B-7. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -⑧**

食堂を利用しての外出を実施しているが、「〇〇が食べたい」と言葉で伝えるのが難しい方もいる。そのため、できるだけ写真のメニューがあるお店を選びたいと思っていたが、「行き慣れたお店」、「個別での会計を了承してくれるお店」など条件があると、写真のメニューの無いお店になってしまう事もある。そのため、前回食べた時に進みが良かったものやご家族から事前に聞いていた本人の好きな物を職員が選ぶ形になってしまう事も多い。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- お店のメニューの表記と利用者が利用できるお店の条件が合わず、利用者本人ではなく、職員が選ぶ形になってしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

**B-8. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

決まった場所で決まったものしか食べる事ができない Aさん（居住系）

- 児童施設から成人施設へ移行したAさん（児童施設時は加齢児）、成人施設では月に1回必ず昼食を外で食べる外食の機会が設けられていたため実施するも、2回目以降、1回目とは違うお店に向かうとパニックになってしまいました。また自身が外出を行わない際には他者の動向から自身の外出と勘違いをし、「〇〇（店名）」「〇〇（メニュー）」を繰り返し発言しパニック状態になっています。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 本人が獲得した成功体験がルーティンになってしまい、修正が難しく選択肢が狭まった。
- カード提示等の取り組みの時期が遅かった。
- 急な予定の変化はある程度受容できたが、一度獲得した自分にとって利益あることからそれ以外への変化は納得できなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩ -①**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

**B-9. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

他者と同じ行動をとりたいがるBさん（居住系）

- 3月で高校を卒業したBさん（現在加齢児）、4月になると、他者が通学用バックを用意すると自身も通学の準備を始め登校の要求を繰り返しています。日中活動用のバックを用意し、スケジュール提示を行うも理解はするが納得はしない様子が続いています。またそれ以外にも、他者の帰省準備をみると自身も始め、他者が外出準備をすると自身も準備を始めることを繰り返しています。カード提示やカレンダーを使用し、自身の日課を明確にするも、自分以外が特別なことをしている事が気になるようで、カレンダーを破いたり、職員室に進入し、ペンをとり塗りつぶしをしたりして、日課を早めようとします。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 他者の行動が気になり、本当に自身が行いたいことが明確に分からなかった。
- スケジュール、カレンダー等の理解が乏しかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩ -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-10. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ -④**

Aさんはほぼ1日自室で過ごしている。時々自室から出てくることはあるが、その時職員は毎回トイレ誘導する。排泄をするまで便座に座ってもらうが、排泄がない時もある。それはAさんにとってはただ廊下を歩きたかった、または皆と一緒に娛樂室で過ごしたかったという行動なのかも知れない。自室から出てきたのですぐにトイレ誘導することは、Aさんの意思を確認していない支援であった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・自室から出てきたらすぐにトイレ誘導していた。
- ・Aさんの表情、行動をよく観察すれば、Aさんに訴えが分かるかも知れない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -③ -④ -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-11. **委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

利用者Tさんは手や腕、衣類等にボールペンなどで落書きする行為が見られ、怪我につながる事等を声かけしても理解が得られない状況が続いている。本人は何かに書きたいという意思があると予想して、居室に本人用のボールペンと自由帳を用意し、居室でいつでも紙に書ける環境を設定した。また、腕や衣類には書かず、自由帳に書くよう示したイラストを居室内に掲示し、本人にも何度も説明し理解を促した。職員が傍にいる時には自由帳に書くことがあったが、その後も手や腕、衣類等に文字を書く様子が見られている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・腕や衣類等に落書きする本当の目的、本人の表出している意思を見出すことが出来なかった。
- ・行為がエスカレートすると怪我に繋がってしまうおそれがある。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑩ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-12. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥ ⑨**

利用者さん同士のトラブルがあり、その場面を見ていなかった。一方的に大きな声を出している利用者さんに話を聞かず「ダメです」と言うと、それ以上に怒りだしてしまった。後から理由を聞くと、相手が先に嫌なことを言ったと話す。その場面を見ていなかったのに、大きな声を出している方に一方的に話をしてしまい、その方の意思表出する機会をなくしてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・思い込みや決めつけでの支援が良くなかったと思う。

**事業所判断ポイントカテゴリ -④ -⑥ -⑦ ⑨**



【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-13. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ ⑨**

Aさんが社会支援を実施する日に職員の方で別に行かなくてはいけない行事が入り、支援が実施できないことになった。

Aさんは約束が違うと怒り、興奮が見られた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・事前に予定していたスケジュールが変わった事を納得してもらえよう説明できなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-14. **委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑥ ⑨ -⑦**

大好きな甘い缶コーヒーを毎日飲んでいてDさん。肥満であり健康の為に、担当職員が飲まない日を決めて提供しなかったことで涙を流し泣いていた。肥満改善の為に良かれと思い対応したが、大きなストレスを与えてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人と話し合いを行っていない
- ・甘い缶コーヒー以外の飲み物の提供が必要であった
- ・周囲への対応が優先された。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -② -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-15. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑦ -① ⑨**

周囲が騒がしくなると不安定さを示すCさん。不安定になると他利用者に対し粗暴行為あり、奇声を発するため、すぐに居室にタイムアウトさせた。直後、居室内でおもちゃを投げたり奇声、自傷行為見られた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Cさんの表情を観察し不安定になる前に、周囲へ対応すべきであった。
- ・Cさんと向き合い声かけすることへの配慮が足りなかった

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑦ -① ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-16. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑦ -① ⑨**

日中活動に参加せず、居室で過ごすことが多い利用者さん。活動の参加と身体を動かすために食堂掃除の際、参加を促した。大声を出しながらも参加したが、食堂で他利用者さんとトラブルになった。間もなく利用者さんは居室に戻ってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の状況や周りへの影響を配慮すべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-17. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ ⑨**

グループホームを利用しているAさんが休日に昼食後の薬を飲んでおらず、職員が部屋を訪れた際に薬を発見した。服薬するよう声を掛けると「飲むから」と返事があったが、テレビに夢中になっており動く様子が見られなかったため、動き出すまで繰り返し声掛けを行ってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 飲んでいない理由を聞かずに飲むことだけを促した。服薬の水が残っていたかなど確認しなかった。
- ・ Aさんの行動を待たずに一方的に促していた。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-18. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -④**

こだわり行動があり、言語での意思表示が難しいAさん。グループホームでは自室のベッドに横になり過ごしたり、長時間トイレに閉じこもることが多い。不健康にならないよう身体を動かしたり買い物などをして楽しむことを勧めてみるが手を振って拒否することが多い。また買い物中は好みそうな衣類やお菓子を職員が提示するも全て拒否されてしまい、自分で選ぶことが難しかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 意思疎通が難しく、本人の意思を知る（推測する）ことが難しかった。
- ・ 意思が読みとれず、買い物に行けても満足する買い物ができなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-19. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ ⑨**

Aさんは本や雑誌を集めたり、見るのが好きである。所有数が多くなり、残すものと処分するものに分けることになった。Aさんに分けてもらうように促したがAさんだけでは出来ず、職員が手伝うことになった。数も多く、Aさんが確認しないまま処分されてしまったものもあり、Aさんが怒ってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 数が多かったため、本人への確認が難しかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-20. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ -⑧**

Bさんは自分の要望を聞いてもらえるまで何度も繰り返している。聞いてもらい納得するまで次々に職員に確認し、居室に閉じこもってしまうことがある。Bさんが納得するような代替案の提供が困難だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 本人が納得する代替案を示すことが出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑤ -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-21. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -④ -②**

Aさんが自販機でジュースを購入する際、Aさんに飲みたい物を指さししてもらおう。Aさんが指さしたジュースを購入する。しかし、そのジュースを渡しても受け取らず横を向いてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・言語でのコミュニケーションが困難で上手くやりとりが出来なかった。
- ・指さしたからといって飲みたい物と言うわけではなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -④ -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-22. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -⑧**

言葉でのコミュニケーションが困難なBさんとの日常のやりとりについて、できるだけ『はい』か『いいえ』で答えられるような話や質問をするように努めている。ある時、あることをBさんに尋ねたところ、何の反応もなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Bさんにとっては難しい質問であった可能性がある。
- ・『はい』『いいえ』の他に『わからない』『難しい』『答えたくない』等の選択肢を設ける必要があるかもしれない。
- ・その場面の環境面（場所・時間帯・周囲の人）は適切であったか見直す必要がある。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-23. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨ -③ -⑥**

Bさんは弱視でほとんど見えていない。タンスの中に衣類をたくさん入れていたいという拘りがある。タンスの中に余裕があると、同室のCさんのタンスから手探りで衣類をとり、自分のタンスの中に入れてしまうこともある。（Cさんからは苦情等はなく、その事に気付いているかも不明。）家族からは細目に整理し、タンスの中を綺麗にしてほしいと要望がある。タンスが閉まらないほどに衣類であふれてしまうことが多々あり、家族からの要望があるので、支援員が細目に確認し衣類整理をしている。しかし、すぐにまた衣類でいっぱいになってしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の拘りと家族の要望が合わなかった。
- ・Bさんの理解力が乏しく、言葉での説明が理解出来ず、視覚的支援も困難である。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨ -③ -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-24. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑤**

外出日で B さんの欲しい物すべてを購入すると予算がオーバーしてしまう為、本人が欲しいものから購入することを提案し、購入できないものは次回にすることを話した。その日は本人に聞き一番欲しい物を購入したが、納得ができなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 外出前に購入するものを本人と話、さらに外出日の買い物時に購入支払いまでを本人と一緒に行う等の本人個人の個性に対しての工夫が足りなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-25. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥ ⑨ -③**

団体でいることを嫌う利用者の方がいます。職員は、避難訓練や日帰り旅行で、様々な方法で本人がその場に居られる工夫をしています。それがマッチングすればなんとか居ることができますが、基本的には嫌がり、興奮し、職員や他利用者への他害に発展してしまいます。最終的にはある程度本人の意向を尊重するしかなくなくなります。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- もともと団体生活が嫌な方であり、施設としては必要にかられて行っている行事なので、本人の意向を尊重することも難しい。
- 施設外に出てしまった時は、行き場がなくマンツーマンで対応が必要になってしまう。
- 長くその場に留めていると、嫌がり興奮し他者への他害が始まってしまう。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -③ -④ -⑤ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-26. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

毎日ルーティンで決まった場所を移動し、決まった空間で座っている利用者が居ます。夏場暑い盛りでも、必ず外のコンクリートの上で過ごそうとされます。職員はせめて帽子やタオルをと思い支援しますが、本人からすると無用の丁物で、外してしまいます。気温が上がるとグダッとしてしまうこともあり、水分補給を促したり日陰に入る様に支援したりしますが、必ず拒否となります。その場に水を持っていくと、やっと飲んで頂けます。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- どうして本人がその場に居たいのかがわからないため、居たい場所を変えることができない。
- 物を身につけることを嫌うため、帽子やタオルを身に付けてくれない。根気強く支援できていない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑦ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

**B-27. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨ -③**

歯磨きの時間に音楽を聴いてほしいとの要望があった利用者の方に対し、「今は歯磨きの時間です」と伝えた。すると、利用者の方は納得がいかないためか、興奮して泣きわめくことがあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・もっと話を傾聴しながら本人の意思を汲み取る姿勢が必要であった。また、本人が納得できるかたちで次の行動へと移れるような働き掛けが足りなかった。
- ・集団生活の流れに沿って行動してもらいたいとの職員の都合を優先させてしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨ -③**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

**B-28. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑧ -③**

買い物外出に出かけた際に、コーラを飲みたいと話した A さん。A さんは糖尿病のある方で、食生活には注意しなければならないため、常飲することは勧められない。本人には健康面などから今回は購入は止めようと伝え納得いただいたが、表面化した本人の要望を取り下げざるを得なかった。納得いただくまで時間を使うのは支援として困難だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・分かりやすい言葉で説明し、理由等は理解していただいたが、気持ちの面に寄り添えなかった。
- ・買い物に出かける前に本人の要望を確認し、コーラが飲みたいとの意思が聞かれたのなら、栄養士や看護師と“どの程度ならコーラを飲めるか”また“コーラと似たもので代わりになる飲み物はないか”等、しっかりと相談しておくべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑧ -③**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

居 住 系

**B-29. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -④**

児童施設からの入所の20代男性（自閉症）  
特定の職員、利用者があると不穏になることがあり、粗暴行為に発展してしまう。不穏にならない様に本人が好む遊びを提供するが、そのことにより要求が強くなり対人関係とは別に不穏・興奮に発展してしまう。  
広告（チラシ）を見てお団子やお菓子、ジュースを指すことが多く、気分転換を兼ねて外出。本人が指さす商品（お団子・お菓子・ジュース）を購入し、飲食するが施設に戻ると不穏になることが多い。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ある程度の言葉（単語）、ジェスチャーは本人からあるもののコミュニケーション取るには少なすぎる。
- ・写真・絵カード等のコミュニケーションを取る道具の未使用、取り組むが出来ていない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -④ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居住系

**B-30. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ ⑨ -①**

簡単な言語でのコミュニケーションが可能な自閉症のYさん。予定や約束事をカレンダーに書いて確認したり、自分の思いが上手く伝えられない時は紙に書いて思いを伝えている。以前、職員からもらったスマートフォンで、余暇の時間にツバメを写真に撮ったり、ディズニーのショーの映像を動画に撮ったりして使用していた。使用するにあたり、活動中や食事中には使用しないとの約束事を設けていたが、活動中に使用して職員から注意を受けると不機嫌になり、持っていたスマートフォンを人に向けて投げたり、床に叩きつけたりとする行為が見られるようになった。自分で破損させたタイミングで、今後の提供について職員間で話し合った結果、外出時のみに施設のスマートフォンを貸すというかたちで提供していくことにした。一度外出に行った際、スマートフォンを貸し出したが、電車の写真を撮ったり、電車から降りるタイミングでアラームが鳴るというかたちで使用した。外出後、施設に返却するよう伝えても、混乱は見られなかった。現在は、最近家族からもらったガラケー携帯を持っており、写真や動画を撮って使用しているが、画質が綺麗でないためか使用頻度は低い。

9月に大好きなディズニー宿泊旅行があるが、そこで自分のスマートフォンで写真や動画が撮りたいとの話が聞かれた。しかし、本人が約束を守りながら安全にスマートフォンを使用するための支援が出来ておらず、強い要望ではないものの、本人の思いが実現されていない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- スマートフォンを使用するにあたっての約束事を、本人にわかりやすいかたちで伝えられているか見直す必要があった。
- 職員によって態度が変わり、新しい職員などあまり信頼関係が構築出来ない職員の時に約束を破ることが多い。
- スマートフォンに依存するような生活にはなって欲しくない。依存しないような関りが検討出来ない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -① -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居住系

**B-31. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

男性入居者で、一般就労していたが人間関係が原因で退職してしまう。その後、本人を交えて関係者と話し合いを行い、企業を何力所か見学し体験を経て本人、確認の上、障害者雇用で就職をした。だが人間関係でうまくいかず再び退職してしまう。関係者が就職の面で相談にのったり、助言をしたり、朝起きるのが苦手なので声かけを行ったが継続して勤務することが出来なかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 就労の面、生活面の双方について慎重に見通しを立てることが出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑦ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-32. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -④ -⑦

利用者 Aさんは、買い物の際、自分の意思でなにをかうか決めることができず職員がいつも選んでしま  
う。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ Aさんは、自分で選べないので職員が選べば良いという気持ちになっていた。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -② -④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-33. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -⑥ -⑧ ⑨ -③

ご家族の反対でグループホームへ移行出来なかった Bさん

グループホームへの移行を希望されている Bさん、しかし家族は本人の将来の事や金銭面、自分たちも  
高齢になって来た為、現在のまま施設での継続した利用を希望される。帰省で自宅へ帰る度に、「グループ  
ホームはお金がかかる。」と何度も何度も話をされ、本人の「施設を出て自立したい」という気持ちは抑え  
込まれてしまう。担当の相談員にも協力して頂きご家族と話をしてきたが、家族の考えは変わらなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 両親が高齢で、兄弟の協力も得られなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -③ -⑧ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

B-34. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ⑨ -⑥ -⑧

Aさんはお風呂が好きで湯船から、なかなかあがろうとしなかった。Aさんに対し「早くあがりましょ  
う「他のお友達もはいりますよ」等の声掛けをした。声掛けに対し反応あるが、表情強張り体を前後に  
揺らしながら不穏な様子で声を発してしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 入浴は一日の疲れを癒す場であり、利用者さんの「ゆっくりお風呂に浸かりたい」という意思よりも  
業務の流れの効率化を優先してしまった。
- ・ 時計やタイマーなど工夫することも必要だった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 B 生活介護等（日中活動系）

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 日中活動系

**B-35. 委員会考慮ポイントカテゴリー -④ ⑨**

Mさんはイライラすることで他利用者に対し悪戯や追いかけたりする行動がある。その際、散歩や動作訓練など促し気持ちをリフレッシュしていました。職員間で話し合い、野球が好きなこともあることからバッティングセンターへ外出することも取り入れてみる。1ゲーム12球中、3球バットに当てることができ「やったー」と喜ぶ様子がありリフレッシュできていると感じていたが、回数を重ねるごとにまた悪戯や追いかけたりする行動が見られるようになった。家庭での様子を聞いたところ「思うように打てなかったことがイライラになったのでは？」との話があった。リフレッシュできていたと思い込んでいた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Mさんのリフレッシュできるものについてもっと模索する必要があった。
- ・職員の思い込みが先行してしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 日中活動系

**B-36. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -② ⑨ -⑦**

Nさんは普段、口数が少なく意思を示すことも少ない。カラオケが好きで毎回参加している。Nさんに歌いたい曲を聴いてみるが返答がなかった。曲名リストを見てもらい「好きな曲を指差ししてみてください」と声掛けすると、あまり考える様子もなく指をさす。支援員がマイクを渡すが歌うこともなくずっと立っていた。本人の歌いたい曲ではなかったのかもしれない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員のペースで聴き取りをしてしまった。
- ・表情の変化や動作等、確認していない。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 日中活動系

**B-37. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ -⑦ -① ⑨**

施設の旅行先で途中動けなくなってしまった利用者。

いつも施設で行っている支援を試した（気分を盛り上げる等）が、一向に動くことができない。外出先で他利用者もいる、時間が迫っている、他の人を待たせているという状況の中でやむを得ず、職員の介助で車椅子に乗っていただき、移動させるという手段をとらせていただいた。

きっと本人はまだやりたいことがあったり、帰りたくない気持ちの表れだったのかもしれないが、施設内とは違うイレギュラーな状況の中、本人の気持ちを丁寧に汲み取り支援することができなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちを汲み取りきれなかった。
- ・アプローチするにあたり、職員も余裕がなく、柔軟な対応が不十分であった。
- ・あらかじめ個別に予定を説明するなどの事前準備のアプローチ不足。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑥ -⑦ ⑨**



【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-38. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -⑧ -⑥ -③**

Cさん（男性、重度、自閉症）

集団への参加が得意ではないCさんは、朝、事業所に来ると事務室に入り、そのまま昼食以外は事務室で過ごす日が続いた。事務室ではCさんは立って窓の外を眺めたり、事務室の職員の様子を見ていたりして、作業場に移動するのが困難だった。

担当職員を中心にケース会議を開き、Cさんの事業所での過ごし方、場所、どんな気持ちで事務室に行くのか等を検討し、事務室と同じような個室で外を眺めたり静かに過ごしたりできる環境を用意した。ケース会議の翌日に、通所したCさんを個室に誘導したところ、午前中は本人もリラックスした表情でゆったりと過ごし、作業にも取り組むことができた。しかし、お昼近くになるとCさんが過ごしていた個室に他の利用者も出入りするようになり、Cさんは表情が強張りだした。昼食後の午後の活動でも同様に声かけて個室に移動したが、険しい表情で過ごし、作業が終わるとすぐに事務室に移動した。それ以降、個室には入ろうとしなくなった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 本人抜きでケース会議を行い、職員間では支援方法の共通理解を図れたが、本人に対しては、事前の十分な説明と本人の同意がないまま、個室への誘導をしてしまった。

（インフォームドコンセントの大切さ）

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨ -⑧ -③**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-39. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -⑥**

Dさん（男性、重度、てんかん）

トイレ介助が必要なDさんに対して、排泄時間を連絡帳に記入して家庭と連携しながらトイレの誘導を行っていた。ある時、Dさんはトイレに行きたそうではなかったが、前回の排尿時間より4時間以上経過しており、またこの後には胃ろうから経管栄養を入れるので、医療行為の途中でトイレに行けなくなると思い、職員側の都合で強引にトイレに誘導し、Dさんは排尿をした。

その後、強引な支援を反省してトイレの誘導は簡単な声かけのみにし、Dさん自らトイレに行くのを促すのみにした。現在はトイレに行きたい時には、自らスムーズに行くことができ、また間に合わない際はリハビリパンツに排尿がある場合もある。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 定時排泄（4時間ごと）のため、「時間でトイレに行ってもらわなければ」という職員の思い込みがあった。
- 医療行為の途中ではトイレに行けなくなるので、今排泄をしないと後で大変になるという職員の焦りがあった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨ -② -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-40. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ ⑨ -③**

生活のリズムの崩れや健康診断など、本人の苦手な状況の後、登園がしづらかったり、家から全く出れなくなってしまったHさん。

施設玄関前まで来れた際は、本人の好きな人形や給食などを見せて誘導を試みたが、玄関までは保護者の見守りが必要ということもあり、1～2 時間待つことに対して保護者から協力が得られずらい日もあり粘らず帰宅する日が続いた。Hさんも「帰れるならば帰りたい」気持ちがあるようでそれ以降も保護者に「帰ろうか?」と言われるのを待っているような様子があり、さらに登園しづらい日が続いた。

本人の「行きづらい、行きたくない」気持ちと「これ以上休んでしまうとさらに登園できないのでは?」という施設側の気持ちで支援がうまくいかない時期がみられた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

.

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ -④ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-41. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑥**

いつも給食を残さず召し上がっている利用者さんが、次の日の献立表を見て「明日〇〇食べない」と何度かおっしゃったため「残していいですよ」と伝えたくて、どの食材が苦手なのか保護者へ確認しようと思い連絡帳に「明日の献立の〇〇を残すとお話しているのですが、何か苦手なものは入っていますか?」と記入したところ、本人がすぐにその文章を読み、「明日〇〇食べます」と言った。

再度残して良い旨伝えましたが「食べます」とのことで、次の日のメニューを残すことなく召し上がられた。今までも苦手なものを我慢して食べていたかもしれないと思うと、せっかく言えたのにもったいないことをしてしまったと感じました。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・連絡帳に悪いことを書かれてしまったと思わせてしまったため、口頭、封筒に入れるなど配慮すればよかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-42. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ ⑨**

作業活動が美術館へ作品鑑賞か、選択して行う活動があった際に、Bさんは「ゲタ貼り」と作業を選択するが、保護者の「色々な経験をさせて欲しい」という希望もあり、Bさんは美術館に出かけることになった。美術館作品鑑賞から帰ってくると「ゲタ貼りやる」と本当は美術鑑賞ではなく作業をやりたかった様子だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・本人の希望ではなく、保護者の意見を優先する形となった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

B-43. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -⑥ -③ ⑨

昼食時の席が自由に座れるようになっている為、いつもSさんは席を自由に決めているが、決まった席に座りたい方を優先し、相性が良くない方がいると職員から別の席への移動をお願いする事があり、Sさんの今日座りたかった席には座れずに、昼食をとる事があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・相性が良くない方の近くに座る際に職員が近くに座る等配慮すべきだった。
- ・決まった席に座りたい方の近くに座る等Sさんの希望に沿えるように配慮すべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -③ -⑥ -⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

B-44. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -③ ⑨

買い物活動で、自分の欲しい物を見つけ籠に入れていたKさん、家族から「たこ焼き」を購入するように頼まれていた為、残金で購入出来る物が限られてしまい、本人の希望の物が1つのみとなってしまった。頼まれていた「たこ焼き」を購入する際にKさんの表情は無表情だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・買い物活動の意向を家族に理解して頂けるようにきちんと説明できると良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ⑨ -③

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

B-45. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -② -① -④ -⑧ ⑨

昼食時、ごはんをあまり食べずに、水分を多く取るCさんに対して、少しでも食べてほしいという思いから、職員がCさんにおかずを口にいられたところ職員を叩くことがあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・支援する側の枠組で食事を介助してしまい、本人の意思を尊重できなかった。
- ・発語出来ない方だったが、意思の確認や非言語の部分（表情やしぐさ等）もくみ取るべきであった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

B-46. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ⑨

利用者自治会役員会議で、1つの議題に対し幾つかの意見を出して頂いた。その中から1つを選ぶ事となり多数決を行ったところ、Aさんではない他の人の意見が選ばれた。Aさんはその結果に納得出来ず、その後、一定期間、担当職員を避けるようになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・多数決をとる前に説明は行っていたが、不足（分かりづらかった等）があったのではないかと。
- ・意見が決まった後、Aさんの表情をよく見て声をかけ、納得がいくまで話し合うべきであった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -① -② -⑤ -⑦

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-47. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨ -③ -⑥**

週に1度、給食の献立2種類から好きな方を選択する「選択メニュー」の日を設けている。選択する際、写真を提示しKさんに選んでもらった。写真を見てKさんは‘メニューA’を選んだが、当日、実際に食事を目にすると、もう一方の‘メニューB’の方が良いと騒いでしまう事があった。材料発注の都合から事前の選択であり、当日の個数調整が困難な事で、柔軟に対応できず「こちら(メニューA)を選んだのだから食べてください」とテーブルについてもらったが、興奮につながる等、納得して頂くまでに長い時間を要した。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・写真と実物に差があった。(トッピング等、細かな点にも配慮が必要であった)
- ・事前に材料の調達がされており、変更に対応ができなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-48. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

昼食の時間となったが、どうしても観たいテレビがあると言い、食堂へ移動することを拒んだHさん。観たいテレビ番組を録画し、休憩時間に観ることを提案する。ただし、他の利用者の方たちが既に希望しているアニメ番組の録画などもあり、順番で観ている為、今日観られるとは限らない事も併せて伝え、納得が見えた。他の方たちとの順番を守って鑑賞する事を約束したが、昼食後、他利用者の方が先に録画したテレビを観ていると、「私が観るから変えて」と要求が見られた。約束した事を確認するが納得がいかず、気分を害し、午後の活動開始後も気持ちの切り替えができなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が理解するまで伝えるべきだった。(本人の理解を確認するべきだった)

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-49. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

自閉症のAさん。1年以上前から昼食後に嘔吐する行為が見られている。Aさんは発語がないため、本人の行動から訴えを推測し、スケジュールを変更したり、着替えの要求なのかと考え着替えの提示を試みたり、音楽等の余暇をスケジュールに入れ、嘔吐する原因の解決や本人の嘔吐することへの意識を変えることが出来ないか実施している。未だに嘔吐が収まらない状況が続いている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の訴えをくみ取ることが出来ず、嘔吐する行動が長期間続いてしまったため、本人の中で嘔吐が日課の一部のようになってしまったのではないか。
- ・当初嘔吐は時期が来ると治まるっていたこともあり、長期間続いてしまうと予想していなかったため、嘔吐に対する対応が遅れてしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-50. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ -⑧**

Aさんの送迎での出来事。Aさんの他に利用者1名での送迎でした。Aさんを後部座席に誘導すると「何でだよ。バカ」と車近くの水たまりに足を入たりして大きな音立っていた。その後、Aさんに後部座席に乗っていただいたが、走行中も納得していない様子が見られた。他の利用者さんが降車するとAさんは再度怒り出し、送迎のファイルを踏みつける行為があった。助手席に移ってもらうが、納得いかない様子で帰宅している。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Aさんは助手席を好んでいるという情報共有ができてなかった。
- ・Aさんにどこの座席に乗りたかったのかを事前に聞くべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-51. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ ⑨**

自閉症、20代男性。園の送迎バスで帰り、バス停に着くと雨が強く降ってきた。本人傘を持参していないとの事で園に連絡をする。園から家族に連絡してもらおうと園に迎えに行くとの事だったため、いつものバス停では降車せず、そのままバスに乗せ園に向かうが、次のバス停で降りる利用者が降りた後に一緒に降りてしまう。道路を斜め横断し走って行ってしまったため何度も呼び止めるが振り向きながら行ってしまふ。バスに他の利用者も乗車していたためすぐに園に連絡をし対応してもらふ。

園から家族に連絡すると、「本人が降りたバス停から家までの道のりはわからないかもしれない」とのこと。職員と家族で本人を捜す。本人強い雨に打たれながらも1人で自宅に帰っていたようで、家族が玄関前にいた本人を発見する。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・傘を持参していると思い込み、傘の所持を確認していなかった。
- ・次のバス停で降りてしまうとは考えていなかったため追いかけるのに時間がかかってしまった。(他の利用者がまだバスに乗車していたためバスをそのままにしておけなかった。)
- ・本人にとっては、いつも自分が降りるバス停で降りることができなかったため、先の見通しが立たず(家族が園に迎えに来ることを理解しておらず)パニックになり、次のバス停で突発的に降りてしまったのではないか。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-52. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -④ -⑧ -⑦**

絵を描くのが好きなAさんが、今日の活動も絵を描くものと思い込み画用紙を手渡すと、受け取ってはくれたが、その後も落ち着きなく活動室内を歩いていた。他利用者は作業に取り掛かっていたが、全体が落ち着いた頃に作業の材料を自ら準備し作業を始めていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・支援者の思い込みがあった。
- ・Aさんは何の活動に参加したいのかを確認すべきであった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑦ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-53. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ ⑨**

65歳男性。介護保険適用の年齢になり、介護認定を受けたところ「要支援2」との判定。介護サービスに完全移行するようにとの市町村判断により、生活介護事業所である当園を契約解除、週3回のみ介護デイサービスを利用することになった。デイサービスがない平日はグループホームで1人ですごす日が続いた。当園が開所当時から契約解除までの38年間、園を利用しており、契約解除後も本人はデイサービスを楽しむ傍ら、1人であることが淋しく、園に行きたいという思いは強くなっていた。本人が生活しているグループホームには、当園を利用している利用者が3名いるため、園の行事などの情報も本人の耳には入りやすい環境であった。園の送迎車の乗降場所に散歩がてら来ては、「園のクリスマス会は行けないのか？旅行にも行きたいと顔を合わせるたびに本人は思いを伝えてきた。

過去、クリスマス会は「卒園生」として退園した利用者を招待したことがあったが、ここ2～3年は園の利用者のみの行事となっていた。本人の希望通りクリスマス会に招待すると、「園は卒業」と一度は納得してもらった気持ちを逆戻りさせてしまい、よけいに園への思いを強くさせてしまうのではないか？一度行事に招待すれば、その後どの行事もずっと参加できるのではないかとかえって本人に期待をさせてしまう可能性が強く、利用できなくなってしまった園への思いを余計強くさせてしまうのではないか？という意見が出たため、クリスマス会への招待は行わなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察等】

- ・長年園に通った本人の思いを最優先させれば、過去のように「卒園者招待」という形でクリスマス会に参加させてあげべきだったのか。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-54. 委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑥ -⑦ ⑨**

女子利用者のMさん、特定の方への乱暴な言葉が続いており、職員から「相手のことが気になるのであれば離れて過ごしましょう。」と声掛けしたが、Mさん自身が怒られたと感じ、Mさんのイライラを助長させてしまい、物を叩きつけるという行動に繋がってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人と話し合いをしなかったこと。 ・他の職員との対応を話し合わなかったこと。
- ・制止の声掛け以外の言葉を選ばなかったこと。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -⑥ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-55. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -④ -⑦ -⑧ ⑨**

班活動の外出先でアイスをなかなか選ぶことが出来ずにいたIさん。移動の時間がおして私自身が焦っていたこともあり、一瞬指をさしたバニラ味を購入したが、一口も召し上がることが出来なかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・待つ支援が出来なかった。
- ・食べない選択肢も視野に入れるべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -⑦ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-56. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

対象利用者：Hさん 知的障害・自閉症 男性 19才

Hさんは外に出るのが好きで、個別支援計画書に「外出活動」を入れているが、まだ実行できていない。Hさんは、こだわり、自傷行為、他害行為がある。Hさんは現在落ち着いて過ごせている為、新しい事をや  
って「自傷行為」「他害行為」が起こるのが心配で、実行できないでいる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・現在の状態が良く、失敗をおそれて行動できない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-57. 委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑥ ⑨**

レスパイトで外出に行った際、保護者から「カレーが好きなのでカレーを食べさせて下さい」と言われ  
た。本人は偏食がある方だと分かっていたので、いろいろお店があるフードコートを食事場所に設定した。  
本人が向かって座られたところが、ちょうど牛丼屋でカレーもメニューにあった。写真入りのメニューを  
提示し、選んでもらったが、結果、食事は出来ず、少し口にただけで帰ってきてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・事前に行き先を選んで頂く必要があった。
- ・保護者の申し送りを重視してしまった。
- ・本人の好きな物を事前にアセスメントしておく必要があった。
- ・その時の本人の「食べたい」か「食べたくない」かの確認が不足していた。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -⑥ -⑦ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-58. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ ⑨ -⑥**

定時排泄を行う利用者Aさん。その方はイライラしている時や落ち着かない時は口癖で「おしっこ」と話されることがある。ある日、いつも通り定時排泄を行って20分ほど後で「おしっこ」と言われた。個人的にさっき行ったばかりだったので、いつもの口癖かなと思った私はすぐにトイレに行かず、様子を伺っていると、イライラしていたのではなく再びトイレに行きたかったようで、その方は失禁してしま  
った。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の意思を汲み取れなかった。
- ・職員の思い込みがあった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -③ -⑤ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-59. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -③ ⑨ -⑧**

お誕生日会の日、利用者さん全員にお菓子を提供した。誕生日会后、職員が欠席したお菓子の仕分けをしていると、Dさんがお菓子を手に取るような動作が見られたため、職員が「誕生日会で食べたので、終わりですよ」と声掛けを行う。Dさんは不穏になり、付近の物を床に投げた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・個包装されていたお菓子のパッケージは何種類もあり、ご本人が好む絵柄があったと推察される。誕生日会実施前、ご本人にお菓子のパッケージを選んでいただくよう支援すればよかったのではないか。

**事業所判断ポイントカテゴリ -①~⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-60. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -⑦**

買い物の時、利用者さんが何をかうか、何個かうか迷っていると、職員が助言をする。しかし、誘導のようになってしまい、本人の欲しいものを選んでいないようなことがある。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・

**事業所判断ポイントカテゴリ**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-61. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

お店に行く前にメニューを見て、クリームソーダを選択したが、実際に飲んでみると、炭酸のジュースが飲めないことが分かった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・写真での説明や、炭酸の味の説明については難しいと感じた。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑤ -⑧**



【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】B 就労B型・就労移行等(就労系)

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

B-62. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ ⑨ -③**

Cさんからカフェ作業の希望があり、作業が可能かを確認する体験に入ることになった。何度か体験するが、本人が清潔なTシャツを準備することができなかつたため実現しなかつた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・カフェのユニフォームとしてエプロン・帽子しか準備していなかつた。Tシャツも準備できればよかつた。
- ・本人は希望していたのに、物理的な理由で実現できなかつた。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

B-63. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ -⑦ ⑨**

【 Tさん 男性 56歳 高次脳機能障害 】

Tさんは高次脳機能障害で身体機能が低下し、足の運びが重く冷え易かつた。ある日、Tさんから作業時間内に「使い捨てカイロを買いに行きたい。」との訴えがあつた。利用者さんは、休憩時間に何かしらの用事で一人で外出する時は、職員に伝え外出ノートに記入して行くことになっているが、Tさんの場合は、家族（80歳代の父母）から、外出は職員が付き添ってほしいと言われていた。Tさんは思い立ったら作業中に何度も「行く。」と言うので、その度に「今は作業中なので、休憩時間になったら行きましよう。」と伝えていた。その後、休憩時間になったら「行かなくても大丈夫。休みに自分の車で行くから。」と言って来た。しかし、午後の作業の途中でまた「やっぱりカイロを買いに行きたい。」と言われ「お休みの日に行くのではないですか？それとも午後の休憩時間に行きますか？」と聞くと「あはは。自分でイオンに行って買って来るからやっぱりいい。」と言つた。

毎回「行く。」「行かない。」を何度も繰り返したり、職員体制が十分でない時もあり、なかなか本人が希望する時に対応が出来ないことがある。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・今行きたいのか、休みの日に自分で行きたいのか、本心が分からずそのままにしてしまつた。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

B-64. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑥ -⑧ ⑨**

余暇支援でDさんの希望で〇〇へ徒歩で昼食を購入しに出かけたが、実際は車に乗って△△で外食したかつたと話があつた。Dさんに理由を聞くと「母に徒歩で〇〇で昼食を購入するように言われた」との事だつた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Dさんと母との家庭でのやり取りなので職員は介入しにくい。
- ・Dさんと母でのやり取り（意思疎通）がうまくいかなかつたのかもしれない。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑥ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-65. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② ⑨ -①**

Dさんに新しいパン成型の作業を提示したところ「やってみたい」と希望があった。何度か取り組んでいるうちにできるようになったが、本人には「完璧にできるようになりたい」という思いが強くあり、パンが焼き上がるまで、きちんとできたかどうか気になるようになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- できることを増やす目的で作業を提示したがストレスになってしまった。
- パンの完成が目標ではなく、部分的な作業工程で目標を伝えればよかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ -④ -⑤ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-66. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑤**

余暇支援でファミリーレストランのランチを注文する際、サラダバーをつけるかどうかEさんに確認したが反応が薄く注文しなかった。サラダバーを注文した周囲の人が食べる様子を目で追っていた為再度確認し、サラダバーの場所まで連れて行ったが皿を戻す仕草をされたので注文しなかった。退勤時に保護者へ報告すると「サラダは大好き」との事だった。サラダバーの選択肢がある時点でしっかり調べておくべきだった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 言葉を繰り返す癖があるので希望されているかどうかの判断が難しい。
- 今まで把握してきた好きな食べ物の中に野菜は入ってなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-67. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑥**

下請け作業を行っている。Iさんには事前に今日の作業内容や流れを文字で書いて伝え作業を行って貰っている。納品の為、車で来た業者より必要数を言われその数分だけ納品するが、Iさんの中で仕上がった材料を全て納品せずに1つ残す事は納得出来ず、無理に車にのせ納品しようとする事があった。必要ない事を言葉で伝え、文字で書いてIさんに読んで貰うが納得出来ず、業者の方の理解により最終的には必要としていなかった材料を納品する事となった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 文字に書いて読んで貰うタイミングが遅かった。
- 事前に納品数を確認し、知らせておくこと。
- 納品の手順を順序立てて行うこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

B-68. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -⑦ ⑨

Mさん ダウン症 男性 29才

普段自ら言葉を発する事が少ない。帰宅の時、送迎車が待っている事で職員も焦ってしまい、声掛けが頻繁になってしまった。その事でご本人のペースが崩れてしまい、意思を上手く伝えられずに突発的に物にあたる事があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ご本人の納得するタイミングをつかむことができなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -② ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

B-69. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -① -⑥ -⑦

利用者 Aさんは自分の思いがその通りにならなかったり、職員が繰り返し活動を行うよう声掛けをすると不機嫌になり暴言を言って自傷行為をしてしまう。Aさんの意思を尊重しながら手伝いなど出来ることを見つけながら不機嫌にならないように支援しています。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・理由が分からず自傷行為をしてしまう。
- ・冷静に声掛けや見守りをしている。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ⑩

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

B-70. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -③ -⑦ ⑨

体重が増加傾向にあるIさんは体重が増えたことで動く事が少なくなっているようで歩行や運動を進めているが、自主的には行わない健康の大切さ、病気になることの大切さ等を説明して歩行や運動で体重をおとすアドバイスをしているが実行に移すことが出来ない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・歩行や運動は本人にとって楽しくないことで実行されないと思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -③

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

B-71. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -② -③ -⑧ -⑥

普段と同じ作業を行っていたAさん。急に怒り出し、興奮して作業部屋から退席する。その後も落ち着けない状態が続き、その日は別な部屋で作業をせずに過ごしてもらう。本人からの気持ちの聞き取りが困難で怒りの原因不明。退勤時間になりようやく落ち着きを取り戻す。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・別な作業を希望していたことを汲み取れず、普段通りの作業を依頼する。
- ・他の利用者が目の前で褒められて悔しい気持ちであった事が分からなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -② -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-72. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑦ ⑨ -⑥**

手先が器用なBさん。細かな部分に注意を要する新しい作業に挑戦してもらう。作業に慣れ順調に取り組む事が出来てきた。その後も継続して作業への取り組みをお願いした。しばらくして、新しい作業が大変で疲れを感じている事を知った。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の意思を繰り返し聞き取らず、本意の把握が出来なかった。
- ・本人の作業能力面を重視してしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-73. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨**

作業時間に利用者さんから相談の訴えがあった時、「ちょっと待って下さいね」「作業後の時間にききますね」と声をかけ返事をした。その後自分からではなくその利用者さんの方から再度足を運んで来てもらう事となった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・忙しい事を理由に明確な時間の提示が出来なかった。
- ・利用者さんに何度も足を運ばせてしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-74. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑧ ⑨**

利用者のBさんは上の歯が義歯という事も有り、ご家族から「給食を柔らかく小さくして欲しい」との希望に合わせ提供する事になる。Bさんはこだわりが有り、職員からのアドバイスもなかなか受け入れて頂けない状態。日々自分で決めた順番、やり方好み過ごしている。今までと違う物を受け入れる事も困難な為この様な形状で食事を提供する事に留まってしまっている状況。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ご本人にきちんと説明が出来ておらず納得していないのではないかとと思われる。
- ・ご家族はよく噛まず食べ、飲み込んでしまう事を心配しており将来噛む事をしなくなると懸念されている。
- ・刻み、つぶしと少しでも消化され易い形状としているが、ご本人は普通の物が食べたいと感じ、ご家族との思いが違う。職員として周囲の方の考えが優先される状況となっている。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-75. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ ⑨**

Bさん…42歳男性。就労B型でパン製造に携わっている。

日々、本人と会話をしながら活動しているが、作業中に本人から度々「こういうパンを作りたい」との話がある。本人からせっかくのアイデアであるため実現させたいが、通常注文の関係や取り扱っている材料の関係、パン作りの技術の関係などで、なかなか実現することが出来ない状況となっている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・通常の業務が忙しいことなどを理由にしまい、本人の「やりたい」気持ちを流してしまっている。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-76. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥ -⑦**

就労継続B型を利用しているKさん。思いを伝えることが難しく、物事を考えてから行動にするのではなく、行動に移してから反省することが多くみられるため、家族との本人が決めた「本人が守ること」のリストを職員と話し合って文章に起こしたものを作成している。登園後は必ず読んでいただき、何か起こした場合には連絡帳を使ってKさんに状況を書いてもらい、家族に知らせている。数か月経過しても毎月、何かしら行動を起こしてしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑥ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-77. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -① -⑦**

知的障害 20歳のBさん。支援学校高等部から実習を経て入所。実習の内容と適性から請負作業に取り組む。正確に取り組むことができていたが、本人から「畑の仕事がしたい」との話がある。職員会議で検討し、家族にも相談した結果、「本人の希望なら畑の仕事をやっていただこう」ということになり、畑で農作業に取り組んでもらった。しかし、除草程度はこなすが、すぐにやらなくなり、皆から離れて過ごすようになってしまった。その後、再度、請負作業に戻ることとなった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・請負作業に飽きてきてしまったことから、安易に作業を変えてしまった
- ・農作業の具体的な仕事内容をしっかり伝えることが必要であった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -④ -⑤ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-78. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ ⑨**

知的障害 25 歳の C さん、毎日同じ種類の作業に取り組んでいる。本人から「難しい」と訴える日もあれば、「頑張ってる」「かんたん」と話す日もあり、作業のマンネリ化により情緒不安定の日が続く。本人の現状として、他種の作業に変更しては不良品を出してしまうため、頑張るように伝え継続して同じ取り組んでもらった。本人の表情や言葉からは、あまり気乗りしていないと感じ取れた。作業終了間際、突然立ち上がり、出入り口の戸を蹴飛ばし破損させてしまった。その後、本人と良く話し合い、週の後半は、他種の作業に取り組んでもらい声かけを多くして現状を見守った。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の意思表出を見逃してしまった。
- ・コミュニケーション不足であった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ -④ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-79. 委員会考慮ポイントカテゴリー -①**

他の作業種に取組の本人希望により、チャレンジしたが、何度も繰り返し説明支援を行ったが、作業工程が理解出来なく製品を完成することができない。

【配慮が困難だったポイント び考察 等】

- ・言葉での説明が理解することが困難である。
- ・本人とのコミュニケーションを取るために、イラスト等のアイテム活用をあった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -①**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-80. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -④**

S さんは、自分の思いを口にするのが難しいため、利用者間でのトラブルを申し出ることも殆どなく、別の利用者から報告があり発覚することがある。職員の問いかけに笑顔で返答したり、その場面で求めている返答とは全く違う言葉を発するときがある。支援計画（見直し）の説明で家庭の様子を伺うと母親から帰宅し、突然買い物をしたいと申し出ることがあり、その時すぐに出かけることが出来ない場面もあり、なかなか納得してもらえないときがあり困ってしまうとのこと。もしかしたら、思うように相手に伝えることが出来ないため、施設で何か自分の思い通りにいかないときや我慢したとき買い物で発散しているのではないかとの話があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人との意思疎通が困難なときや表情の変化を分からなかったこと。
- ・家庭との情報交換が不足していたと感じた。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -④**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

B-81. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑦ ⑨**

すぐに作業に飽きてしまう本人さんに、作業を促す声掛けに「やんねって言ってるべ」と興奮し作業テーブルをたたく。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人さんの意思決定を「待つ」余裕が職員側なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

B-82. **委員会考慮ポイントカテゴリ -①**

登園後の作業時開始前や休憩時には好みのぬり絵や折り紙を行ったり、本を見て過ごすHさん。作業開始時になってもなかなか片づけを行うことができず、早めに声掛けを行っているが、なかなか改善されない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が片づけの時間を理解できるようなスケジュール表や絵カードの使用をしていない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -①**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

B-83. **委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -④ -⑤**

知的障害のある 20 代 A さん。特別支援学校在学中に清掃作業で実習をした企業で現在勤務されている。普段からあまり自分の希望や気持ちを伝えることが苦手な方である。清掃範囲が広いことから担当する場所を一人で清掃しているため、作業は本人任せになっている。

就職後 1 年を経過する頃から、作業中にも関わらず誰もいない休憩室で休んでいたりと、丁寧に清掃が出来ていないことが増えたため、作業のルールの再確認や作業手順に抜けがないようチェック表を作成するなどの支援を行い、その後、チェック表を利用して問題なく取り組んでいた。

ある日の面談時の会話のなかで「今日は〇〇さんから仕事を頼まれたり一緒に作業もしたんですよ。」と嬉しそうに話す場面があった。支援者の私は、業務面も対人面も順調であると会話や表情から読み取った。

しかし、面談の翌月、A さんの上司から連絡があり「作業上の抜けが出てきており、A さんのチェック表も出ていない。」とお困りの相談を受けた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・仕事をきちんと行ってもらうことに視点をおいてしまったが、なぜルールを守れないのか、本人の気持ちを確認すべきだった。
- ・自分の気持ちや希望を伝えることが苦手な方なので意思の表出がスムーズにできる支援が必要だった。
- ・本人からの、「〇〇さんと一緒に作業をした」という何気ない会話から、例えば「本当は清掃よりもやりたい仕事があるのではないか？」「一人ではなく誰かと一緒に仕事の方が安心？」などといった本人の意思をくみ取ることが出来たのではないか。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -④ -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 B 児童入所・放デイ等（児童系）

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

B-84. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑥

Tさんの支援を日常的に行う上で、外出先や購入物を決める際に、言葉のみのやりとりに偏ってしまうことが多々あった。その為本人が情報を処理しきれずに混乱を招き、交渉が成立せず不穏状態になってしまふことが度々あった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・視覚的掲示物によって選択肢の範囲を伝える
- ・実現できる日程や見通しをポイントカード等で伝える

事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

B-85. 委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑧ -⑥

散髪に行ったKさん。初対面の店員さんにしてほしい髪形を伝えることが難しく、Kさんが考えていた髪形にして貰うことが出来なかった。帰宅後「こんなじゃなかった」と納得のいかない表情で職員に話している。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・事前に髪形の参考になるものをいくつか用意し、選択できるようにするべきだった
- ・店員に伝える手段として、写真を持参することが必要だった

事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

B-86. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑧

発語がない児童。食べ物の希望を聞く際に写真を見せて対応しているが、指を差したもので実際には食べられないことがある。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・言葉で伝えられないため意思の確認が難しかった。
- ・指で差したものと本人がイメージする物が合っているか確認が必要だった。

事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

B-87. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑦

自販機でジュース購入の際に身長の低いAさんが指したものを職員がボタンを押してしまい、その後本人がそのジュースを飲まなかった。自分で押したかったようである。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・自分で買うという気持ちへの配慮が足らなかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑦



【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

**B-88. 委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑥**

居室変更をしてから、視野・視覚に制限がある児童がタンスの中から衣類を見つけられないことがあり困っていた。タンスの中の衣類を種類ごとに収納できるように箱を置いてみたが、本人だけでは分けて入れることが出来なかった。上から見た時に分け方がすぐに分からないと分けて収納しようという意識に向かないようだ。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・環境の中で出来得る支援をしたが、本人のためにはならなかった。
- ・衣類を分けて入れることで探しやすいことを教えたかったが、本人の意思を確認せずに職員が先回りして対応していた。

**事業所判断ポイントカテゴリ -④ -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

**B-89. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -① ⑨**

Cさんより「段ボールで制作したい」と要求があった。夕方の服薬の時間前であり、掲示してあるタイムスケジュール表では「片付け」の絵カードが貼られている時間であった。また、段ボールが居住スペース近くには無く外のゴミステーションに取りに行かなければならない状況であった本人に状況を口頭で伝えたが、納得できず他害行為へとつながってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人に言語だけで伝えてしまい状況が詳細に伝わったかわからないこと。 ・代替案の提示がなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

**B-90. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -⑤**

事前学習でメニューを見ながら購入するものを決めていたところ、第一候補のホットドックはマスタードが辛そうという理由で、第二候補のチーズドックを購入することになった。実際にチーズドックを購入したあと、「チーズ嫌いなんだよね」とスタッフに伝えた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・第二候補になったことで納得できるのか等、本人の意思や好みを深く確かめるべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-91. **委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨**

「みんなと遊びたい」と遊ぶことが好きなAさんだが、下校時間が一人だけ遅い為、「他の子は遊んでいるけど宿題をやりようね」「お母さんと約束したね」と事前にやりとりしたが、遊んでいる他の子を見て遊びたくなってしまい、宿題を終わらせることができなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・勉強の時間をすらすら配慮が必要だった。
- ・これだけの時間遊べる、宿題をこれだけはやると見通しが立つように支援する必要がある。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-92. **委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨**

・成人施設に空きが出て入所の打診があったが、両親が金銭的理由から断ってしまった。本人は高等部卒業後、児童施設の騒がしさなどから落ち着かない状況が多くなっている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・卒業を向かえてから、児童施設に残ることで児童施設の騒がしさが本人にとって負担になる事を予想し家族に伝える事が上手くいかなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-93. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑧ -② -①**

衣類購入の際、服を選ぶ際に本人が頷くので良いと思い購入したが、実際には好みの物ではなく、結局はその服を着る事はなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が頷いた事で、本人も同意し購入したと思っていたが、実は好みでなかった。
- ・本人は好みをはっきりしているが外出先では思いを上手く伝える事ができない方なので、事前に本人の好みを知っておくこと、どのような物を購入するのか話しをしておく必要があった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑤ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-94. **委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨ -⑥**

・職員の先入観で子どもの余暇活動を決めてしまい、児童の意見は反映されていないことが多い。活動内容自体も選択の幅が少なく、子ども達への聞き取りを行う機会も少ないので同じような活動が続いてしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・子どもたちの意見よりも職員の考え、勤務事情が優先されてしまった。
- ・提供できる資源が限られているため、いつも同じような活動になってしまう。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-95. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -④ -⑥ ⑨**

集団指導での小学生男児。集団課題の内容に苦手意識があり、活動に消極的であった。他児と一緒に参加したい気持ちもあったようだが、課題が思うようにすすまず「なんでぼくばかり」「ひどいよ」など言い始めた。その場の状況を整理して本人に伝えたが、課題参加に拒否的になってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・まずはご本人の気持ちに寄り添うことが必要だった。その対応をする、時間とスタッフの確保ができていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨ -④ -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-96. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① ⑨ -⑦**

登園時、玄関先で動けない小学生男児。ことばで意思を伝えることができる方だった為、こちらの伝えてほしいという気持ちから、「休みたい」ということを誘導してしまった。その方は、負の感情を伝えることが苦手だと理解していたが、経験させたい気持ちもあり2択での選択を試みるが、余計にかたまってしまった。しばらくすると「お休みします」と小声で伝えてはくれたが、ご本人に負担をかけてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ご本人の行動から気持ちは把握できたため、口頭だけでなく、手紙で〇×などの対応をとり、段階的に支援すれば良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-97. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨**

食わず嫌いのある児童に、様々な食材の味を知ってほしいと思い、「頑張って食べよう」と進めた。本人は「食べたくない」と意思表示していたのでそれに反する形の支援になってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員の考え方が一方的になってしまった。
- ・食べさせ方には配慮をしていたが職員のペースで食べさせてしまい、子どもたちへの配慮が足りなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-98. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -⑤ -⑥ ⑨**

Dさんの本人の気持ちやしたい事、伝えたい事が指導員との関係不足により、伝える事が出来なく特定の指導員頼みになってしまった。本人自身も「特定の指導員がいるから。」「特定の指導員が対応してくれるから。」となっていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・コミュニケーションも不足の上、ツールも提供、使用しなかった。
- ・本人の様子を観察しない上に確認もできない状態になっていた。
- ・実体験もさせられず、その後も流れにならなかった。
- ・指導員の配慮や思考が不足していた。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -② -⑤ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-99. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -⑥ -② -③**

Cくん(ADHD)は週3回利用しているが、内1回は集団支援を利用。他児らと学習したり、ゲームをするなど集団生活での過ごし方を学んでいた。

ある日、集団の日であるにも関わらず、活動に入りたがらず「外で遊びたい」と言い出す。職員はCくんの意見は聞かずにダメであることだけを伝える。Cくんはかんしゃくを起し、服を少しずつ脱いでいってしまう。Cくんの気持ちを無視し、職員の思いだけで行動の制限をしてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・集団支援ということもあり、本児のみの言い分を聞き入れることが難しかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-100. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -④ ⑨**

意思表示が苦手なD君。

課題へ意欲的に取り組むことが出来るが、周囲の声など気にしてしまい、何度も離席が見られる。お勉強を頑張っているDくんを褒めながら着席を促すが、意思表示が苦手なDくんはトイレに行きたいを言えず、失禁してしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・尿意についてDくん自身、伝えることが出来ると判断してしまった。
- ・離席した際に、その理由を聞かなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -④ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-101. **委員会考慮ポイントカテゴリー -④ ⑨ -⑦ -②**

＜言語訓練の場面で＞ Cさん(男児・学童)

プリント課題に取り組んでいた際、答えがなかなか分からず悩んでいたが、訓練終了の時間が迫っている事もあり、スタッフが答えを教えた。すると、本人は最後まで自分で答えを導きたかったようで怒ってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・時間が迫っていた事を理由に、本人のペースに合わせられなかった。
- ・答えを教えるのではなく、次回までの宿題などに切り替え、本人の達成感につなげられれば良かった。
- ・予め時間を設定してから取り掛かるように促せば良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑨ -⑦ -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-102. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -② -⑤**

＜集団指導の場面で＞ Dさん(男児・未就学)

最近登園渋りと活動中に特定の他児を避けている様子があり、自宅でもその他児の名前を口にすることは嫌がってしまうとの話を保護者から受ける。いろいろな友達がいるし…利用の曜日は都合もあるから…と保護者・事業所側も上手く調整が出来なかったケース。ある日、いつもと違う曜日に登園を促し、玄関先で今日のメンバーの写真を見せると「〇〇くん、いなーい！□□ちゃん、いる！」と言って喜んで入室している。本当は□□ちゃんと一緒に嬉しい、安心するという本人の気持ちがきちんと汲み取れていなかった事が分かった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちより大人の都合が優先されてしまった。
- ・出来る限り、本人が安心して活動出来るように可能な限りメンバーや曜日の調整を検討していく。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑨ -② -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-103. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ ⑨** 中1男児（発語なし）

児童下校時、通学バックから連絡帳や水筒を自分で出してからかごに入れることになっている。しかし中1男児は動きがゆっくりで声かけするも5分ほど動かず。仕方なく職員が取り出したところ、自傷行為(頬叩き)を始めてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・他児の対応や、その後の日課も控えていたため、職員が待てなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-104. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -① -② -③ -④ 小5男児

卒業生を祝う会の実行委員として、当日開会の言葉やメッセージカード贈呈を行った。司会は他児が担当していたが、その役割分担が不明確だったため、自分の役割後落ち着かなくなり、会の進行中に他児にちょっかいを出したり、席を離れてしまうことがあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・役割分担について、本児に明確に伝えることができなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -③ -④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-105. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ⑨ -③ -⑧

おやつ時間に予算内で好きな菓子を選ぶ活動を行った。自ら好きな菓子を選んだが予算を超えてしまい選んだ菓子を食べることができなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・一つ選んだ時点で次に選んだ菓子が予算を超えてしまうものは視覚から外しておく配慮が必要であった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -③ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-106. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -① -⑧ -③ -⑥

バイキング形式の食事の際、デザートは一人一個までとの表記があったが、Bさんは食事の途中でデザートを食べ、他の料理はおかわりし食べた。最後にもう一度デザートを食べたいとの話があったがデザートは一人一個までであり、おかわりはできない事を説明した。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・一人一個の表記はあったが、Bさんは普段からそのような表記を見落としてしまう傾向があるため、事前に説明しておく必要があった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -③ -⑥ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

B-107. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -③ ⑨ -⑥ -⑦

課題を拒否する男児について。登園時間に遅れてきた為、部屋に入ってからすぐに課題へ促すが課題に対して拒否が強く、本児が好きそうな物に変え促すが、奇声をあげて嫌がる。いろいろ課題を変えてみるものの机の上の課題も下に投げ、最後まで取り組めなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・登園が遅れており、集団活動の時間に余裕がなかった。  
・時間がなく課題の順番を待つ際の、おもちゃで遊ぶ時間がとれなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ** -③ -⑦ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児童系

**B-108. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -⑦ -⑧**

6歳男児。登園時から表情暗く、気分が乗らない様子がある。好きな遊びへ誘い、切り替えを図るが「あそばない」と拒否する。課題を行うと、間違える度に「怒ってる?」と聞く。怒っていないことを伝えると「まちがえたから怒ってほしい」と泣きそうな表情。苦手なことでも頑張っていることを褒めるが気分は上がらず。最後には泣いてしまい、落ち着かないまま降園となる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の本当の思いを汲み取ることが出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -⑦**

次の実例（B-109）は、事業所判断では成功実例とされた実例ですが、委員会の話し合いの中で失敗実例にさせていただいた実例です。

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**B-109. 委員会考慮ポイントカテゴリ 失敗実例 -①**

利用者にサーカス無料招待のお誘いがあり、希望者を連れて行くこととなって、本人に対して聞き取りを行っていた。行かないということであったが、家庭にもお知らせして、本人が行く事に対して同意を取ることとしたが、母親がお出かけが好きなのになぜ行かないと答えたのか不思議に思ってよく話を聞いたところ、本人が休日に行く活動だと勘違いしていたこと、施設のみなどと平日に行く活動であると説明したところ、行きたいということを決意できた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

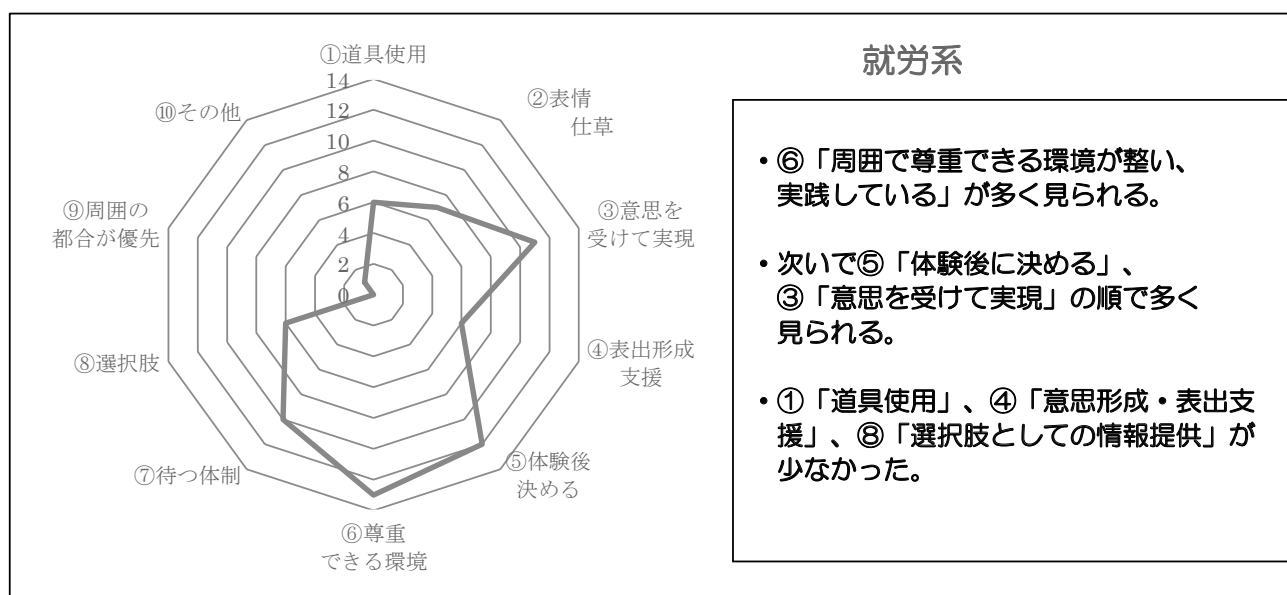
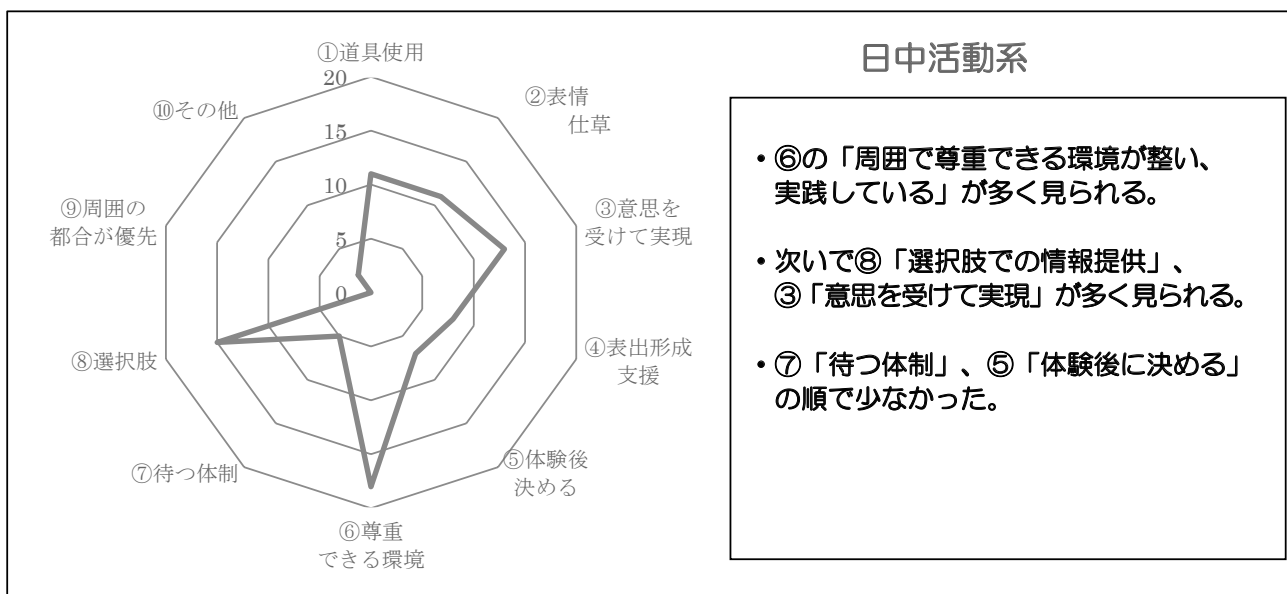
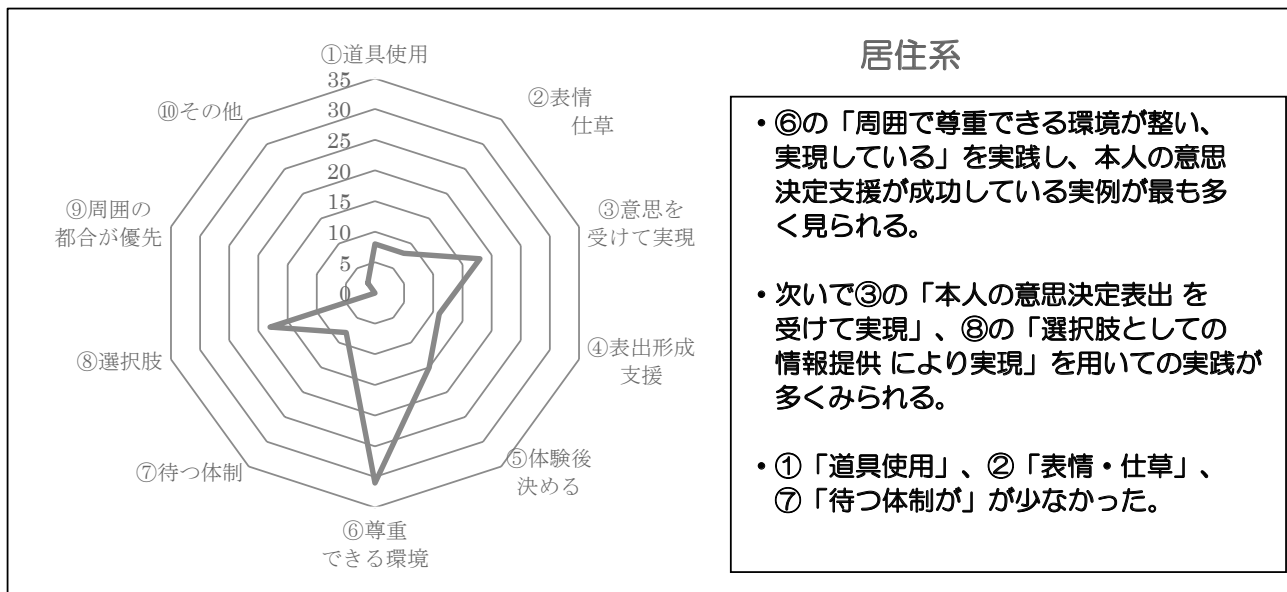
- ・賞賛しお礼を述べることで、本人の自信に繋がっていた。
- ・本人が希望する時に実施している事で、習慣化されてきている。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧**

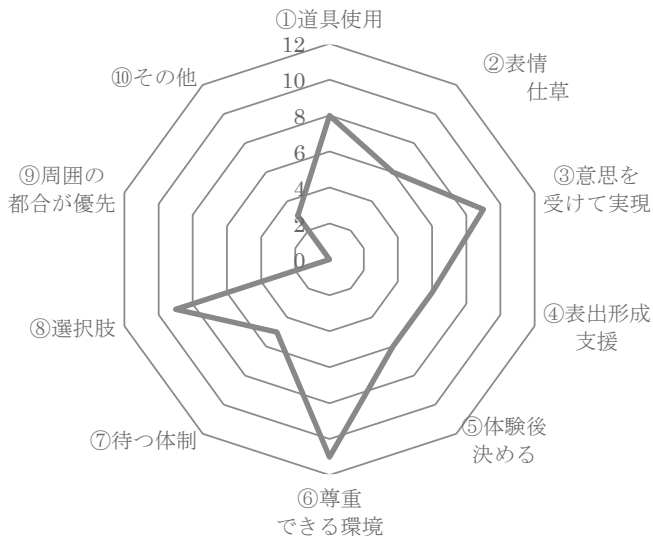




# 令和元年度 カテゴリー分類図（成功事例4系全体）

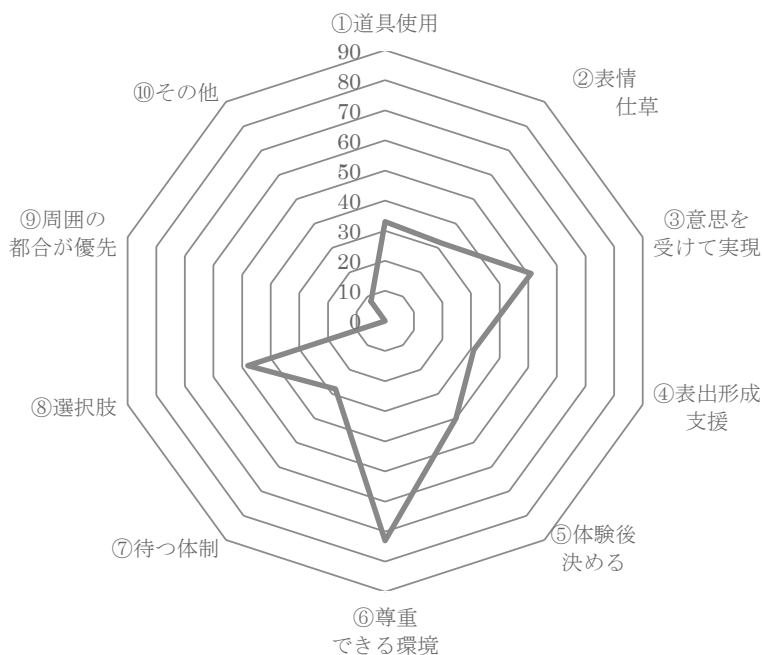


## 児童系



- ⑥「周囲で尊重できる環境が整い、実践している」が多く見られる。
- 次いで③「意思表出を受けての実現」、⑧「選択肢としての情報提供」が多く見られる。
- ⑦「待つ体制」がもっとも少なかった。

## 成功事例 全体のカテゴリー分類図



## 系統別カテゴリー数

カテゴリー	居住系	日中活動系	就労系	児童系	全体
①	8	11	6	8	33
②	8	11	7	6	32
③	18	13	11	9	51
④	11	8	6	6	31
⑤	15	7	12	6	40
⑥	31	18	13	11	73
⑦	8	5	10	5	28
⑧	18	15	6	9	48
⑨	0	0	0	0	0
⑩	2	2	1	3	8

## 【全体の傾向】

- ⑥の「意思決定を周囲で尊重できる環境があり、実現」が最も多く実践されていた。
- 次いで③「意思の表出を受けて、実現」⑧「選択肢」が多く見られた。
- ⑦「待つ体制」については、もっとも少なかった。
- 例年の結果同様、⑨の「家族や周囲の人の都合が優先された。」は、0であった。これにより人権侵害があつての成功事例は無かった。したがって本人主体の意思決定支援がなされている所に人権侵害つまり虐待はないという実例の結果であった。

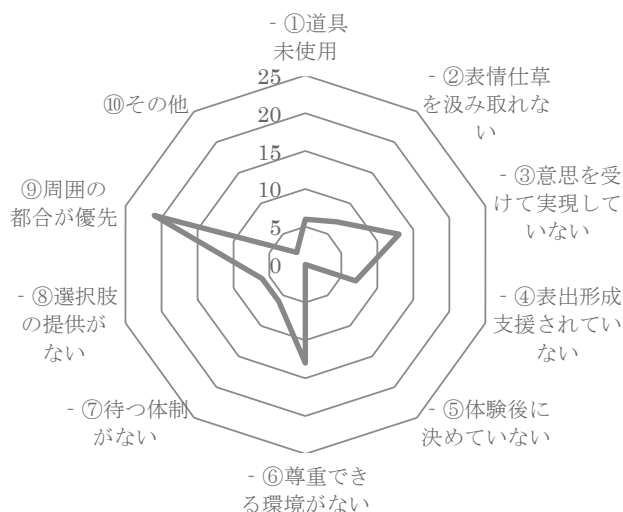
# 令和元年度 カテゴリー分類図（失敗事例4系全体）

## 居住系



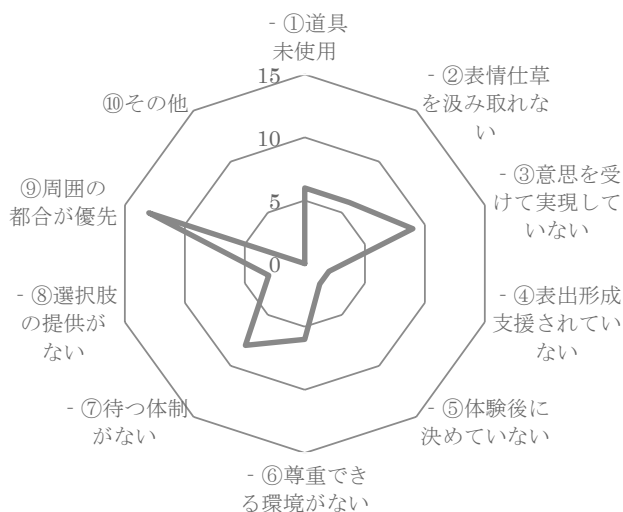
- ⑨の「家族や周囲の人の都合が優先された」が最も多く見られる。
- 次いで-①「道具未使用」、-⑥「尊重できる環境がない」が多く見られる。
- -⑤の「体験後に決めていない」は少なかった。

## 日中活動系



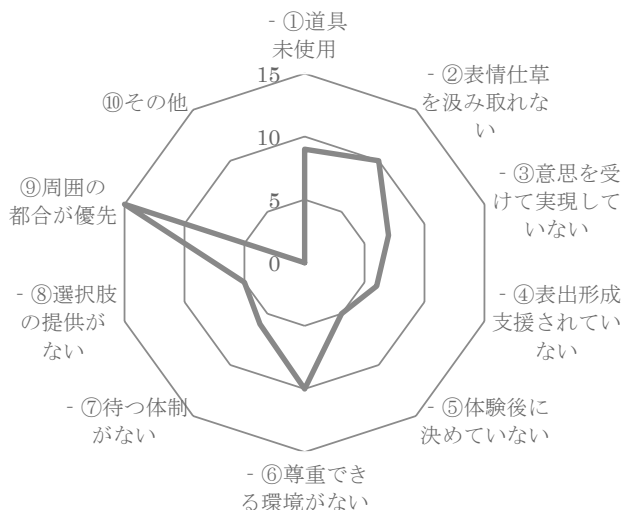
- ⑨「周囲の都合が優先」がもっとも多く見られる。
- 次いで-③「意思を受けて実現していない」、-⑥「尊重できる環境がない」が多く見られる。
- -⑤「体験後に決めていない」がもっとも少なく0だった。

## 就労系



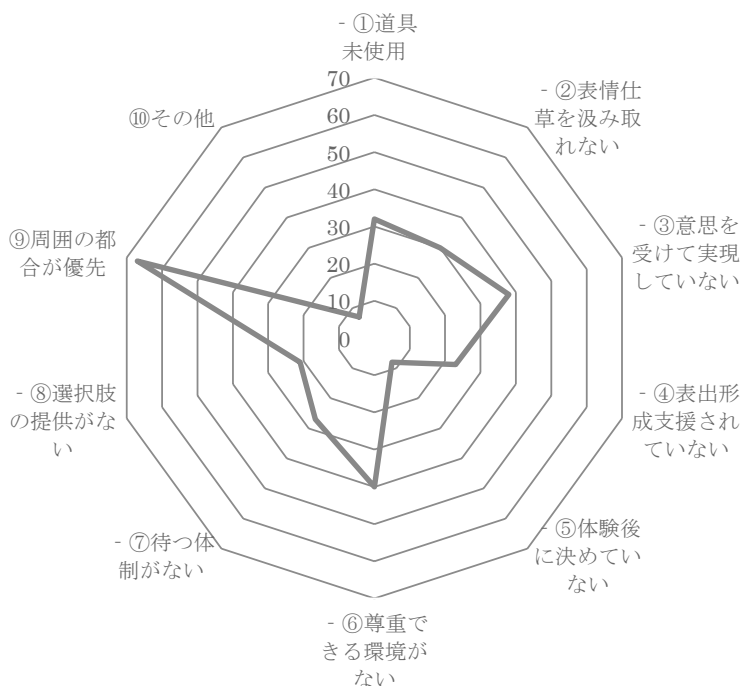
- ⑨「周囲の都合が優先」がもっとも多く見られる。
- 次いで-③「意思を受けて実現していない」、-⑦「待つ体制がない」の順で多くみられた。
- -④「表出形成支援がされていない」、-⑤「体験後に決めていない」は少なかった。

## 児童系



- ⑨「周囲の都合が優先」がもっとも多く見られる。
- 次いで-②「表情や仕草」、-⑥「尊重できる環境がない」が多く見られる。
- -⑤「体験後に決めていない」、-⑧「選択肢の提供がない」については少なかった。

## 失敗事例 全体のカテゴリ分類図



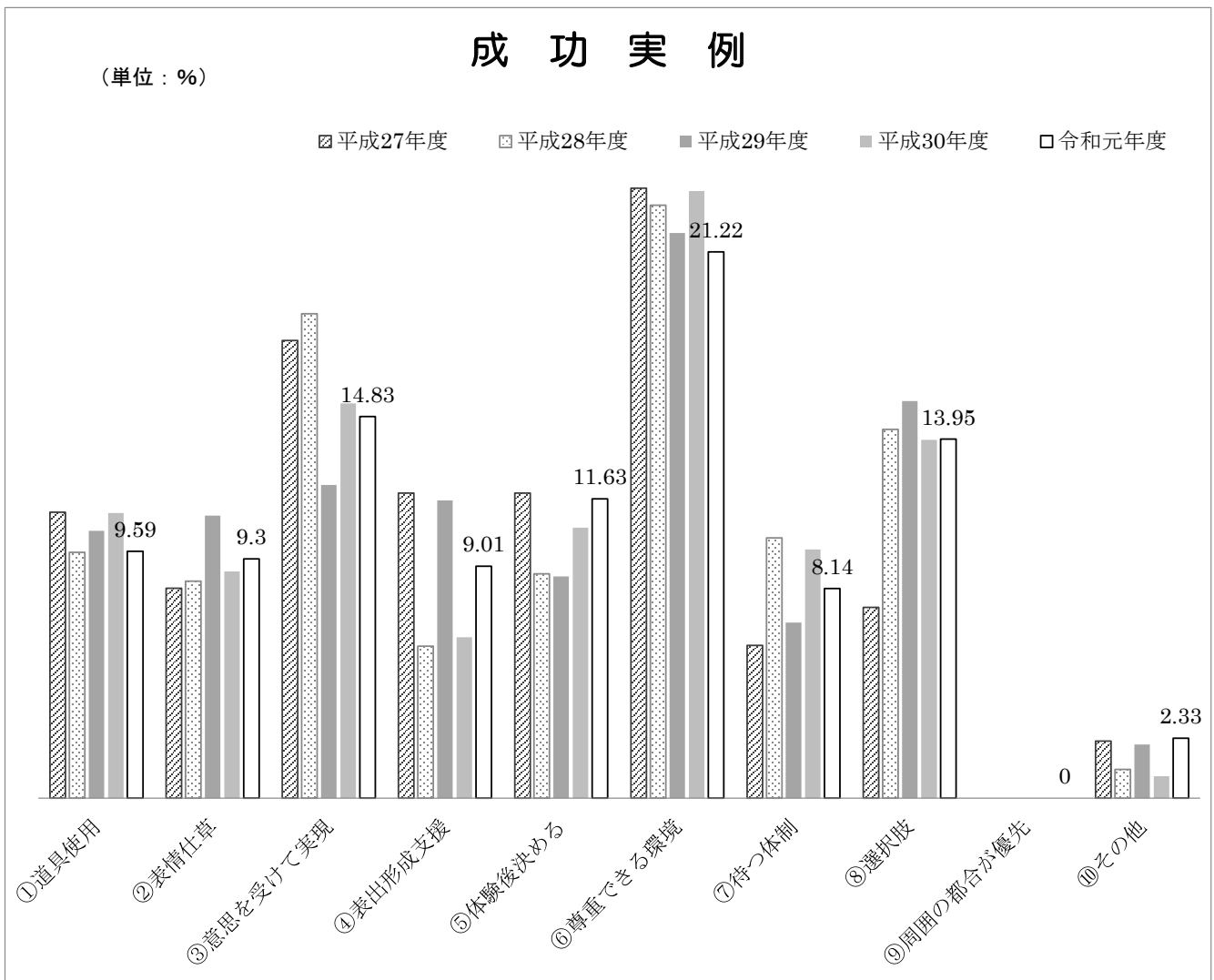
## 系統別カテゴリ数

カテゴリ	居住系	日中活動系	就労系	児童系	全体
-①	11	6	6	9	32
-②	7	7	6	10	30
-③	9	13	9	7	38
-④	8	7	2	6	23
-⑤	1	0	2	5	8
-⑥	11	13	6	10	40
-⑦	7	6	8	6	27
-⑧	7	6	3	5	21
⑨	18	21	13	15	67
⑩	5	2	0	0	7

## 【全体の傾向】

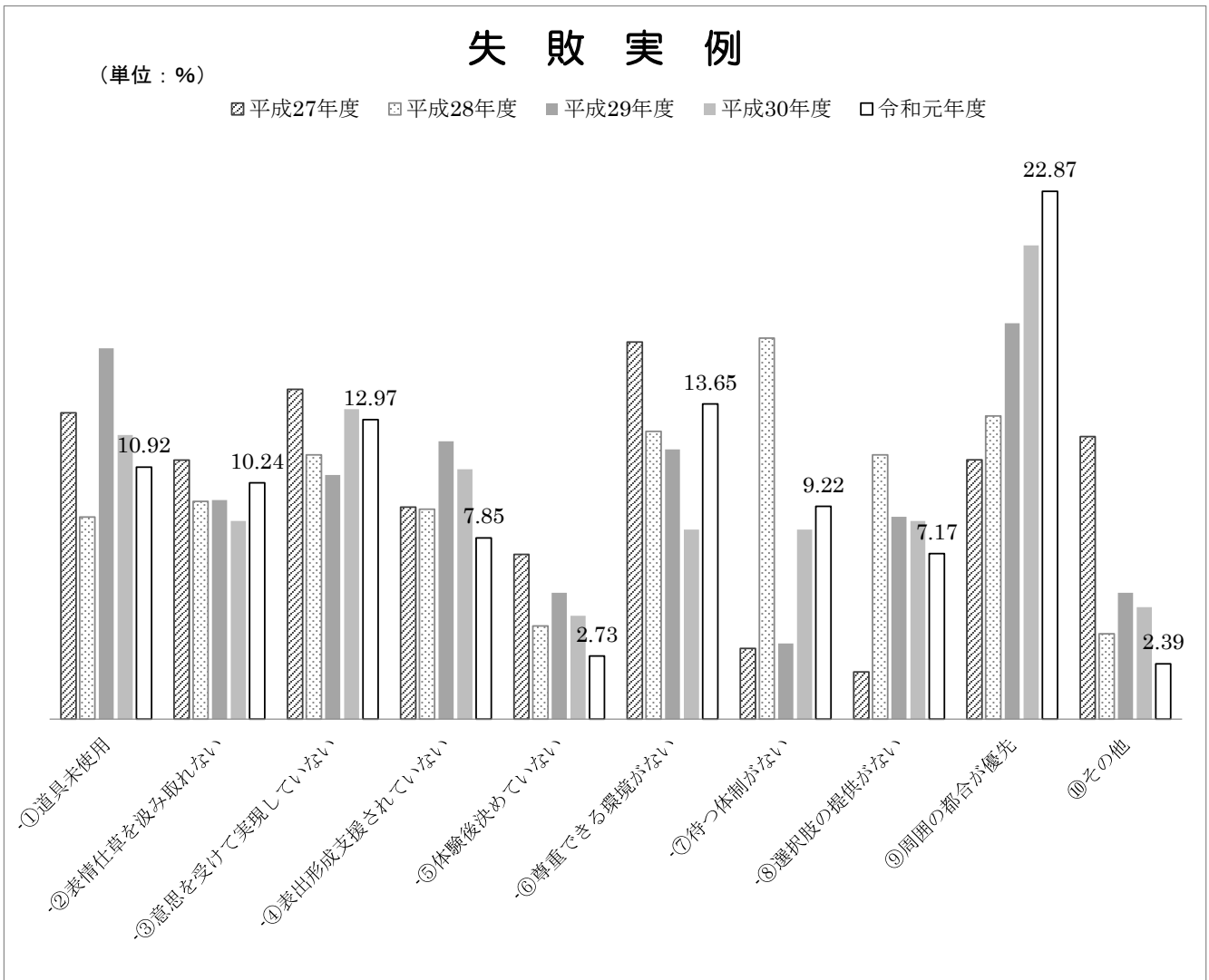
- 居住・日中・就労・児童すべてにおいて、⑨の「家族や周囲の人の都合が優先された」が最も多く見られた。
- 次いで、-⑥「尊重できる環境がない」、-③「本人の意思を受けて実現していない」、の順で多く見られた。
- -⑤「言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない」の実践件数が最も少なく、経験や体験を実施する前の段階で「周囲の都合が優先」や「尊重できる環境がなく」本人の意思を受けても実現が困難な現状が見られる。

# 5年間のカテゴリー分類比較図



カテゴリー	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	5ヶ年合計	上位
①道具使用	11.11	9.55	10.39	11.08	9.59	51.72	
②表情仕草	8.15	8.43	10.98	8.81	9.3	45.67	
③意思を受けて実現	17.78	18.82	12.17	15.34	14.83	78.94	②
④表出形成支援	11.85	5.9	11.57	6.25	9.01	44.58	
⑤体験後決める	11.85	8.71	8.61	10.51	11.63	51.31	
⑥尊重できる環境	23.7	23.03	21.96	23.58	21.22	113.49	①
⑦待つ体制	5.93	10.11	6.82	9.66	8.14	40.66	
⑧選択肢	7.41	14.33	15.43	13.92	13.95	65.04	③
⑨周囲の都合が優先	0	0	0	0	0	0	
⑩その他	2.22	1.12	2.08	0.85	2.33	8.6	

# 5年間のカテゴリー分類比較図



カテゴリー	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	5ヶ年合計	上位
-①道具未使用	13.27	8.75	16.06	12.31	10.92	61.31	
-②表情仕草を汲み取れない	11.22	9.43	9.49	8.58	10.24	48.96	
-③意思を受けて実現していない	14.29	11.45	10.58	13.43	12.97	62.72	②
-④表出形成支援されていない	9.18	9.09	12.04	10.82	7.85	48.98	
-⑤体験後決めていない	7.14	4.04	5.47	4.48	2.73	23.86	
-⑥尊重できる環境がない	16.33	12.46	11.68	8.21	13.65	62.33	③
-⑦待つ体制がない	3.06	16.5	3.28	8.21	9.22	40.27	
-⑧選択肢の提供がない	2.04	11.45	8.76	8.58	7.17	38.0	
⑨周囲の都合が優先	11.23	13.13	17.15	20.52	22.87	84.9	①
⑩その他	12.24	3.7	5.47	4.85	2.39	28.65	

## 人権・倫理委員による編集後記

意思決定支援事例集の作成にあたり、各事業所からたくさんの実例が寄せられ、参考にさせて頂きたい実例が多数ありました。本人主体の意思決定支援は特別なことではなく、当たり前のことであることが、確実に広がってきていると感じました。一人ひとりの思いは様々です。本人の思いに寄り添い、本人の思いの実現に向けて、この事例集を支援に活用していただければと思います。

(福島県ばんだい荘あおば  
園長 青柳 百合子)

昨年に引き続き、「意思決定支援事例集」の作成に携わらせていただきました。各事業所が実践し、取り組まれた意思決定支援事例集は、10のカテゴリーを基に、ご本人の意思表示は、どこにあるのか。支援者はどのようなアプローチをして思いを引き出したのか等、内容、仕組みなどが整理されています。現場において意思決定支援を理解していくためにも、意思決定支援事例集を活用していただき、支援者のスキルアップとチームとして支援に取り組んでいただけることを願います。

(サポートセンターきらり  
管理者 深谷 健)

今年で5年目を迎えた「意思決定支援事例集」ですが、毎年新たな発見や気づきがあります。とくに5年間事例集の構成に携わらせていただき、作成を始めた当初(H27)は「本人の好きな事、やりたい事を職員や周囲の都合を理由に提供せず・提供できずパニックになる」等の失敗事例が多く見られた印象があります。しかし、ここ数年は「本人の好きな事、やりたい事を提供したが、逆にこだわりを助長してしまいパニックになる」等の失敗事例が見られる傾向があります。同じ失敗事例ですが事例の中身の質が変わってきており、本人の立場に立ってやりたい事を提供できる環境や本人主体の考え方が実践されてきた事が事例集から読み取れます。

今後は、やりたい事、利用者から寄せられた表面的な言葉や要求(デマンド)を受け、職員一人一人がジレンマを抱えながらも本当に利用者さんが思っている意思かどうかをチームで話し合い、追及していく意思決定支援アプローチが重要です。

ぜひ、今回の事例集を日頃の支援現場や人権擁護委員会等で活用して頂ければ幸いです。

(おおぞらの夢  
施設長 松原 篤史)

「意思決定支援事例集」の作成に携わるのは今年で2回目になります。数多くの事例を読ませていただく時間は、自分の支援を内省したり、支援のヒントを得たりすることができる大変貴重なものとなっています。

事例を冊子にすることは、支援者の方々がいつでも多様な事例を目にすることに繋がり、利用者の方々の多種多様な思いがある中での意思決定支援に大変役立つものであると思います。利用者の方の思いに寄り添い、どのように意思決定支援をしていくか、そのプロセスを大切に、支援者同士で話し合いながら、より良い支援に繋げていければと思います。

(福島県矢吹しらうめ荘  
副主任援助員 田村 恵美)

今年度から人権・倫理委員として活動をさせていただきました。委員として、また一人の支援者として未熟ながら、意思決定支援について勉強させていただきながら事例集の製作に携わることができ、とても刺激的で実りのある一年となりました。各事業所から頂いた意思決定支援の実例を読ませていただき、「支援者が合理的配慮のもと、ご本人の最大の利益を考えて、どこまで要望に応えるか」、一番重要でありながら正解がなく難しいと思いました。

また、本人の要望を叶えるためには、個人の視点だけではなく、チームとして様々な視点から考えてみるのが大事であり、そして、支援にあたってはチームとして統一された価値観が必要であり、価値観を共有し統一された支援にあたるのが大切だと思いました。

(須賀川共労育成園  
生活支援員 加藤 能靖)

今年度も人権・倫理委員会の委員として「意思決定事例集」の作成に携わらせていただきました。委員となり2年目、日々の業務でもより一層に人権擁護や意思決定について考えながら利用者さんと関わることができるようになりました。支援に正解はありませんが、利用者の気持ちに寄り添い、今の自分に出来る最善の支援をしていくことが大切なのだと思います。この事例集を読んでいただき、皆さまの意思決定支援の参考にしていただければ幸いです。

(はまぎく荘  
生活支援員 上遠野 智江)

利用者は皆それぞれに、今まで歩んできた人生があり、今後進んでいく人生があります。福祉施設やその職員には、たくさんの人生の一端と一緒に歩いていく責任があります。時には一緒に考えたり、時には考える手助けをしたり、場合によっては代わりに考えたりすることもあるかと思えます。毎日毎日のちょっとした日常から人生の岐路に立った大きな決断まで、自分の思いどおりに送っていけたら…。誰かにとって当たり前であれば誰にでも当たり前でなければなりません。私たちの日頃の業務は、ちょっとした日常の場面の支援がたくさんあります。皆やりたいようにできているかな？ 小さな幸せの積み重ねが満ち足りた人生に繋がっていくような気がします。

(福島県ばんだい荘あおば  
総務係長 熊田 智真)

令和2年1月28日

福島県知的障害施設協会  
人権・倫理委員会

古川 彰彦	父の夢	施設長	(県北・郡山地区)
青柳 百合子	福島県ばんだい荘あおば	園長	(会津・県中地区)
深谷 健	サポートセンターきらり	管理者	(県南・いわき地区)
松原 篤史	おおぞらの夢	施設長	(県北・郡山地区)
田村 恵美	福島県矢吹しらうめ荘	副主任援助員	(会津・県中地区)
加藤 能靖	須賀川共労育成園	生活支援員	(会津・県中地区)
上遠野 智江	はまぎく荘	生活支援員	(県南・いわき地区)
熊田 智真	福島県ばんだい荘あおば	総務係長	(会津・県中地区)

発行所：福島県知的障害施設協会 人権・倫理委員会事務局  
〒960-8164 福島県福島市八木田字並柳 41-3 (父の夢内)  
TEL 024-545-8058 FAX 024-545-1128



